

3章

分野別公共施設の状況

1 対象施設

以下のような目的別の施設分類に基づき、それぞれについて、施設の状況を明らかにします。各施設の状況については、以下の項目について掲載します。

施設の目的別分類

施設分類	施設数	施設名
学校教育施設	14	吉川小学校、旭小学校、三輪野江小学校、関小学校 北谷小学校、栄小学校、中曽根小学校、美南小学校 東中学校、南中学校、中央中学校、吉川中学校 学校給食センター、少年センター
保健福祉施設	19	老人福祉センター 平沼地区高齢者ふれあい広場 美南地区高齢者ふれあい広場 第一保育所、第二保育所 関学童保育室、栄学童保育室 三輪野江学童保育室、中曽根学童保育室 旭学童保育室、吉川学童保育室 北谷学童保育室、美南学童保育室 子育て支援センター 中央子育て支援センター 美南子育て支援センター 児童館ワンダーランド 保健センター、こども発達センター
生涯学習・スポーツ施設	14	中央公民館、東部地区公民館 平沼地区公民館、美南地区公民館、旭地区センター 市民交流センターおあしす 視聴覚ライブラリー、中央公民館図書室 図書館(おあしす内)、旭地区センター図書室 郷土資料館 総合体育館、市民プール、旭公園球場
環境・農業施設	2	環境センター 市民農園
防災・防犯施設	10	加藤防災倉庫、平沼防災倉庫 東埼玉テクノポリス雨水ポンプ場 高久雨水ポンプ場、共保雨水ポンプ場 吉川中央雨水ポンプ場 吉川中央第2雨水ポンプ場 吉川駅南 No.1 雨水ポンプ場 吉川駅南 No.2 雨水ポンプ場 保第2公園防犯活動ステーション
行政施設	4	吉川市役所 駅前市民サービスセンター 東部市民サービスセンター 北部市民サービスセンター

施設分類	施設数	施設名
インフラ施設	40	サイクル&バスライド駐輪場 保公園 吉川駅北第1自転車駐車場 保第3公園 吉川駅南自転車駐車場 きよみ野第3公園 吉川駅北第2自転車駐車場 木売第2公園 吉川駅西自転車駐車場 なまずの里公園 吉川美南駅西口自転車駐車場 月の公園 駅前トイレ きよみ野第4公園 沼辺公園 ほのぼの公園 関公園 美南一丁目公園 中曽根公園 美南二丁目公園 永田公園 美南四丁目公園 高久第2公園 美南五丁目公園 保第2公園 美南中央公園 吉川児童公園 吉川美南駅前公園 道庭公園 アクアパーク 川富公園 栄町にこにこ公園 川野公園 よこまちの杜 木売公園 道庭緑地 高富公園 美南駅自由通路 高久公園 八鍋クリーンセンター
その他施設	4	社会福祉協議会事務所 旧第三保育所 シルバー人材センター シルバー人材センター作業所
合計	107	

2 掲載事項

施設の位置

地図上に施設の位置を示します。

① 施設の状況

- ・施設の設置根拠となる条例等を掲載し、施設の状況について述べます。
- ・施設名、住所、敷地面積（㎡）、延床面積（㎡）などを示します。
- ・延床面積は、施設の建物の床面積の合算を示します。
- ・施設の位置：本市域の地図上に施設の位置を示します。

② 建物の状況

- ・建物について、経年の状況、耐震改修・耐震診断の状況を中心に述べます。
- ・建物名、建築年度（年度）、床面積（㎡）、構造、階数、大規模修繕、耐震改修の状況、耐震診断の状況を示します。
- ・建築年度は、その建物の建築年度を示します。
- ・大規模修繕は、大規模修繕を実施した年度を示します。
- ・経年は、建築年度を西暦に変換して2021から引いた年数を示します。
- ・設備の状況（ホール、会議室などの状況、広さ、処理能力、など）を記載します

③ 利用の状況

対象利用者数の推移、定員充足率、利用団体、利用者数などにより利用の状況を明らかにします。

④ コストの状況

コストの一覧として、以下の項目について明示します。

基本的に令和2年度の状況としますが、新型コロナウイルスの影響を受け、通常運営と相違がある場合は、担当課より示された年度の状況とします。

コストの状況

	施設名
維持管理コスト	正職員数
	会計年度任用職員数
	会計年度任用職員人件費
	修繕費
	光熱水費
	その他直接事業費
	正職員人件費 (直接投入人員)
	(間接投入人員)
	計
	事業運営コスト
その他直接事業費	
正職員人件費 (直接投入人員)	
(間接投入人員)	
計	
	歳出合計
歳入	使用料等
	補助金等
	その他収入
	歳入合計
	総コスト
	利用者1人あたり総コスト
	収支比率(※)

(※) 収支比率は、歳入/歳出で利用料等の歳入により、どれだけ歳出がカバーできているかを割合で示します。

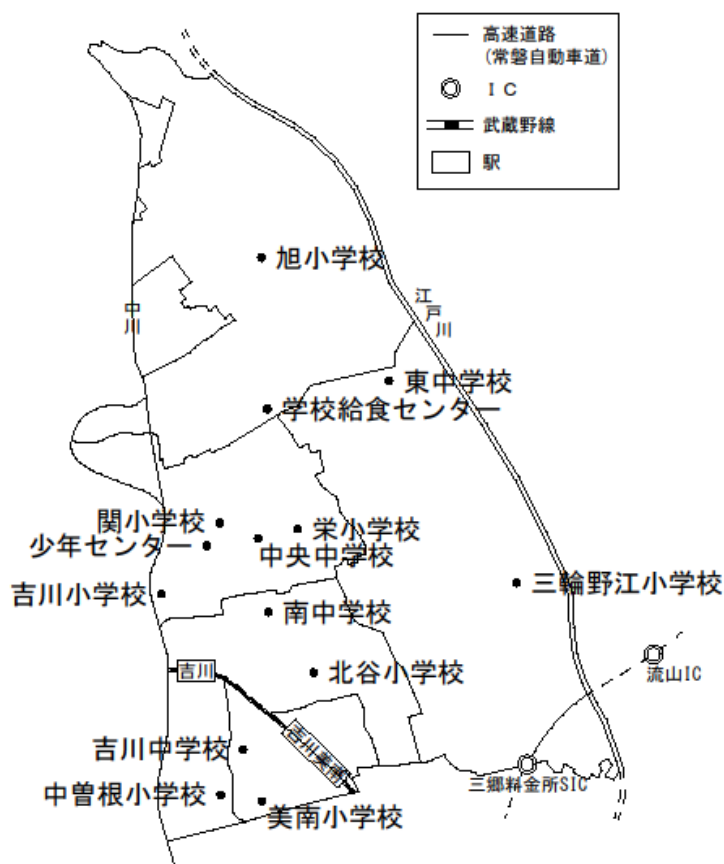
利用者がある施設は、利用者1人あたり総コストを算出します。

⑤ その他

その他、特記事項について述べます。

1 学校教育施設

学校教育施設の位置



1 小学校

学校教育法及び同法設置規則に基づき、義務教育のために設置されています。

(1) 施設の状況

本市には、小学校が8校あります。美南小学校は、中曽根小学校より分離して平成25年4月開校し、市内の小学校は、7校から8校に増加しました。

施設一覧

施設名	建物数(棟)	延床面積(m ²)	敷地面積(m ²)	所在地
吉川小学校	3	7,641.06	14,524.00	平沼
旭小学校	10	4,345.00	16,696.00	南広島
三輪野江小学校	8	4,660.00	16,338.00	加藤
関小学校	12	6,301.00	17,085.00	吉川団地
北谷小学校	7	5,290.00	18,874.00	高富
栄小学校	8	5,911.00	17,417.00	中央三丁目
中曽根小学校	9	5,673.00	18,874.00	中曽根二丁目
美南小学校	7	10,278.56	17,718.61	美南四丁目
合計	64	50,099.62	137,526.61	

敷地面積は全体、延床面積は小学校部分のみを掲載

複合化の状況

複合化は以下の通りです。

吉川小学校、吉川学童保育室、平沼地区高齢者ふれあい広場、平沼地区公民館 (㎡)

建物		建物延床面積合計	施設			
			吉川小学校	吉川学童保育室	平沼地区高齢者ふれあい広場	平沼地区公民館
校舎	3階建	7,610.21	6,955.06	145.92	180.29	328.94
屋内運動場	平屋建	630.00	630.00			
体育器具庫	平屋建	56.00	56.00			
施設合計		-	7,641.06	145.92	180.29	328.94
敷地面積		14,524.00				

北谷小学校、北谷学童保育室 (㎡)

建物		建物延床面積合計	施設	
			北谷小学校	北谷学童保育室
西側教室棟	4階建	1,584.00	1,464.00	120.00
東側教室棟	4階建	1,236.00	1,236.00	
給食受領室	平屋建	24.00	24.00	
東側教室棟	4階建	1,212.00	1,212.00	
プール付属棟	平屋建	100.00	100.00	
屋内運動場	平屋建	700.00	700.00	
管理棟	平屋建	554.00	554.00	
施設合計		-	5,290.00	120.00
敷地面積		18,874.00		

美南小学校、美南学童保育室、美南地区高齢者ふれあい広場、美南子育て支援センター、美南地区公民館 (㎡)

建物		建物延床面積合計	施設					共用部分
			美南小学校	美南学童保育室	美南地区高齢者ふれあい広場	美南子育て支援センター	美南地区公民館	
校舎	3階建	8,835.46	7,760.46	358.00	182.00	105.00	299.00	131.00
校舎	2階建	1,520.20	1,520.20					
屋内運動場	平屋建	874.00	874.00					
屋外便所・倉庫	平屋建	75.00	75.00					
駐輪場	平屋建	19.55	19.55					
駐輪場	平屋建	19.55	19.55					
ごみ置き場	平屋建	10.00	10.00					
施設合計		-	10,278.76	358.00	182.00	105.00	299.00	131.00
敷地面積		17,718.61						

(2) 建物の状況

① 全体の状況

64 棟の建物がありますが、床面積で大きな割合を占めるのは、校舎と屋内運動場（体育館）です。

建物の状況

	棟数	延床面積(m ²)	延床面積の比率
校舎	22	43,072.52	86.0%
屋内運動場	8	5,754.00	11.5%
その他	34	1,273.10	2.5%
総計	64	50,099.62	100.0%

② 校舎・屋内運動場の耐震化の状況

すべての校舎及び屋内運動場は耐震化されています。

③ 経年の状況

30 年超の校舎が 17 棟、屋内運動場が 7 棟、その他が 17 棟あります。

経年の状況

	校舎		屋内運動場		その他		合計	
	棟	床面積(m ²)	棟	床面積(m ²)	棟	床面積(m ²)	棟	床面積(m ²)
10 年以下	2	9,280.46	1	874.00	9	523.10	12	10,677.56
10 年超 20 年以下	1	6,955.06	0	0.00	2	114.00	3	7,069.06
20 年超 30 年以下	2	2,352.00	0	0.00	6	147.00	8	2,499.00
30 年超 40 年以下	5	6,294.00	1	725.00	10	251.00	16	7,270.00
40 年超	12	18,191.00	6	4,155.00	7	238.00	25	22,584.00
合計	22	43,072.52	8	5,754.00	34	1,273.10	64	50,099.62

建物一覧

施設名	建物名	延床面積(m ²)	建築年度	経年	階	構造	耐震診断	耐震改修	大規模改修
吉川 小学校	校舎(※)	6,955.06	平成 14(2002)年	19	3	鉄筋コンクリート造	不要	不要	
	屋内運動場	630.00	昭和 50(1975)年	46	1	鉄骨造	実施済	実施済	平成 26 年
	体育器具庫	56.00	平成 14(2002)年	19	1	鉄骨造	不要	不要	
旭 小学校	普通・特別教室棟	2,300.00	昭和 60(1985)年	36	4	鉄筋コンクリート造	不要	不要	
	特別・特別教室棟	1,143.00	昭和 60(1985)年	36	2	鉄筋コンクリート造	不要	不要	
	屋内運動場	701.00	昭和 53(1978)年	43	1	鉄骨造	実施済	実施済	平成 23 年
	プール付属棟	58.00	平成 13(2001)年	20	1	木造	不要	不要	
	便所	39.00	昭和 53(1978)年	43	1	木造	未実施	未実施	
	体育器具庫	34.00	昭和 54(1979)年	42	1	鉄骨造	未実施	未実施	
	体育器具庫	34.00	昭和 58(1983)年	38	1	鉄骨造	不要	不要	
	機械室	13.00	平成 3(1991)年	30	1	木造	不要	不要	
	倉庫	15.00	平成 9(1997)年	24	1	鉄骨造	不要	不要	
陶芸小屋	8.00	昭和 62(1987)年	34	1	CB造	不要	不要		
三輪野 江 小学校	普通教室棟(西)	1,569.00	平成 6(1994)年	27	3	鉄筋コンクリート造	不要	不要	
	管理教室棟	1,176.00	昭和 48(1973)年	48	3	鉄筋コンクリート造	実施済	実施済	平成 22 年
	普通教室棟(東)	1,083.00	昭和 53(1978)年	43	3	鉄筋コンクリート造	実施済	実施済	平成 22 年
	屋内運動場	688.00	昭和 52(1977)年	44	1	鉄骨造	実施済	実施済	平成 22 年
	倉庫	68.00	昭和 57(1982)年	39	1	鉄骨造	不要	不要	
	プール付属棟	56.00	平成 10(1998)年	23	1	鉄骨造	不要	不要	
	倉庫	13.00	平成 3(1991)年	30	1	木造	不要	不要	
機械室	7.00	平成 10(1998)年	23	1	木造	不要	不要		
関 小学校	校舎(東棟)	2,059.00	昭和 47(1972)年	49	4	鉄筋コンクリート造	実施済	実施済	平成 15 年
	校舎(管理棟)	1,343.00	昭和 56(1981)年	40	2	鉄筋コンクリート造	実施済	実施済	平成 16 年
	校舎(西棟)	1,122.00	昭和 52(1977)年	44	4	鉄筋コンクリート造	実施済	実施済	平成 15 年
	校舎(西棟)	796.00	昭和 49(1974)年	47	4	鉄筋コンクリート造	実施済	実施済	平成 15 年
	屋内運動場	736.00	昭和 49(1974)年	47	1	鉄骨造	実施済	実施済	平成 23 年
	配膳室	50.00	平成 28(2016)年	5	1	鉄骨造	不要	不要	
	プール付属棟	95.00	平成 25(2013)年	8	1	木造	不要	不要	
	体育器具庫	63.00	昭和 62(1987)年	34	1	鉄骨造	不要	不要	
	倉庫	19.00	昭和 55(1980)年	41	1	鉄骨造	未実施	未実施	
	陶芸小屋	9.00	昭和 62(1987)年	34	1	CB造	不要	不要	
倉庫	6.00	昭和 57(1982)年	39	1	鉄骨造	不要	不要		
残菜置場	3.00	昭和 63(1988)年	33	1	鉄骨造	不要	不要		

施設名	建物名	延床面積 (㎡)	建築年度	経年	階	構造	耐震 診断	耐震 改修	大規模 改修
北谷 小学校	西側教室棟	1,464.00	昭和 51(1976)年	45	4	鉄筋コンクリート造	実施済	実施済	平成 21 年
	東側教室棟	1,236.00	昭和 50(1975)年	46	4	鉄筋コンクリート造	実施済	実施済	平成 21 年
	東側教室棟	1,212.00	昭和 50(1975)年	46	4	鉄筋コンクリート造	実施済	実施済	平成 21 年
	管理棟	554.00	昭和 58(1983)年	38	1	鉄筋コンクリート造	不要	不要	平成 24 年
	屋内運動場	700.00	昭和 51(1976)年	45	1	鉄骨造	実施済	実施済	平成 24 年
	プール付属棟	100.00	平成 25(2013)年	8	1	鉄骨造	不要	不要	
	給食受領室	24.00	昭和 56(1981)年	40	1	鉄骨造	不要	不要	平成 21 年
栄 小学校	普通教室・特別教室及び管理棟	3,914.00	昭和 53(1978)年	43	4	鉄筋コンクリート造	実施済	実施済	平成 11 年
	普通教室棟	1,143.00	昭和 55(1980)年	41	4	鉄筋コンクリート造	実施済	実施済	平成 11 年
	屋内運動場	700.00	昭和 54(1979)年	42	1	鉄骨造	実施済	実施済	平成 25 年
	プール付属棟	76.00	昭和 54(1979)年	42	1	鉄骨造	未実施	未実施	
	体育器具庫	33.00	昭和 57(1982)年	39	1	鉄骨造	不要	不要	
	体育器具庫	32.00	昭和 55(1980)年	41	1	鉄骨造	未実施	未実施	
	倉庫	10.00	昭和 55(1980)年	41	1	鉄骨造	未実施	未実施	
倉庫	3.00	昭和 63(1988)年	33	1	鉄骨造	不要	不要		
中曽根 小学校	管理棟	1,935.00	昭和 55(1980)年	41	4	鉄筋コンクリート造	実施済	実施済	平成 19 年
	特別教室棟	1,051.00	昭和 55(1980)年	41	4	鉄筋コンクリート造	実施済	実施済	平成 19 年
	教室棟(東側)	954.00	昭和 58(1983)年	38	4	鉄筋コンクリート造	不要	不要	平成 19 年
	教室棟(西側)	783.00	平成 4(1992)年	29	4	鉄筋コンクリート造	不要	不要	
	屋内運動場	725.00	昭和 56(1981)年	40	1	鉄骨造	不要	不要	
	プール付属棟	99.00	平成 29(2017)年	4	1	鉄骨造	不要	不要	
	倉庫	43.00	平成 5(1993)年	28	1	鉄骨造	不要	不要	
	倉庫	55.00	平成 28(2016)年	5	1	木造	不要	不要	
美南 小学校	校舎(※)	7,760.46	平成 24(2012)年	9	3	鉄筋コンクリート造	不要	不要	
	校舎	1,520.00	平成 30(2018)年	3	2	鉄骨造	不要	不要	
	屋内運動場	874.00	平成 24(2012)年	9	1	鉄筋コンクリート造	不要	不要	
	屋外便所・倉庫	75.00	平成 24(2012)年	9	1	鉄筋コンクリート造	不要	不要	
	駐輪場	19.55	平成 24(2012)年	9	1	アルミ造	不要	不要	
	駐輪場	19.55	平成 24(2012)年	9	1	アルミ造	不要	不要	
	ごみ置き場	10.00	平成 24(2012)年	9	1	鉄筋コンクリート造	不要	不要	

※吉川小学校と美南小学校の校舎にはプール部分を含みます。

網掛け:校舎、太枠:屋内運動場

(3)利用の状況

① 全体

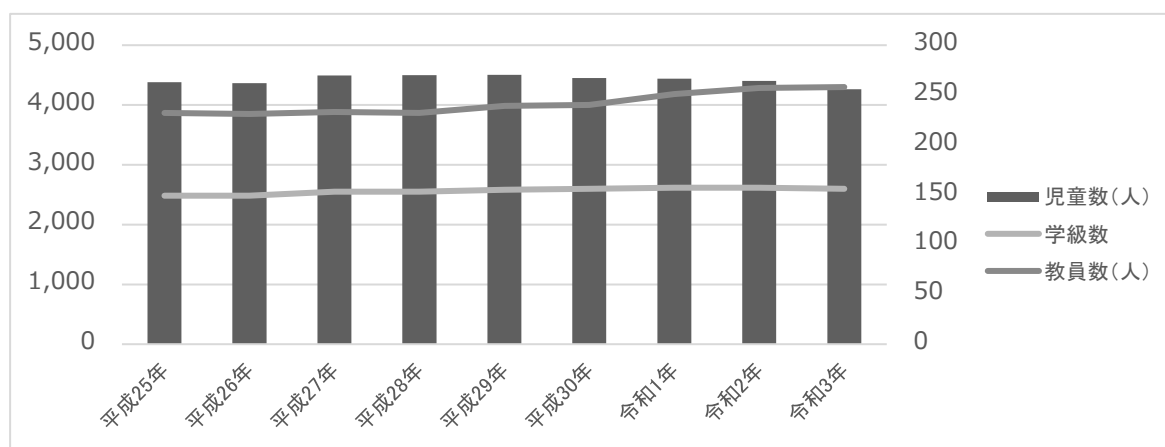
児童数は横ばいですが、地域によって増減があります。

令和3年3月に「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律の一部を改正する法律」が成立したことにより、小学校における学級編成の標準が35人と定められました。市では、令和3年度の小学2年生から導入し、令和7年度には全学年において35人学級となる予定です。

学校数、学級数、児童数、教員数(各年5月1日現在)

	学校数	学級数	児童数(人)	教員数(人)
平成25年	8	149	4,382	232
平成26年	8	149	4,367	231
平成27年	8	153	4,495	233
平成28年	8	153	4,499	232
平成29年	8	155	4,506	239
平成30年	8	156	4,453	240
令和1年	8	157	4,440	251
令和2年	8	157	4,401	257
令和3年	8	156	4,265	258

学校数、学級数、児童数、教員数(各年5月1日現在)



1学級あたり児童数は、全体で27.3人、最多で31.2人、最少で18.9人です。

1学級あたり児童数(令和3年5月1日現在)

	学級数	児童数(人)	教員数(人)	1学級あたり児童数(人)
吉川小学校	19	516	33	27.2
旭小学校	8	151	14	18.9
三輪野江小学校	8	201	19	25.1
関小学校	18	482	30	26.8
北谷小学校	18	427	25	23.7
栄小学校	22	657	36	29.9
中曽根小学校	20	491	35	24.6
美南小学校	43	1,340	66	31.2
全体	156	4,265	258	27.3

② 児童1人あたり敷地面積、延床面積

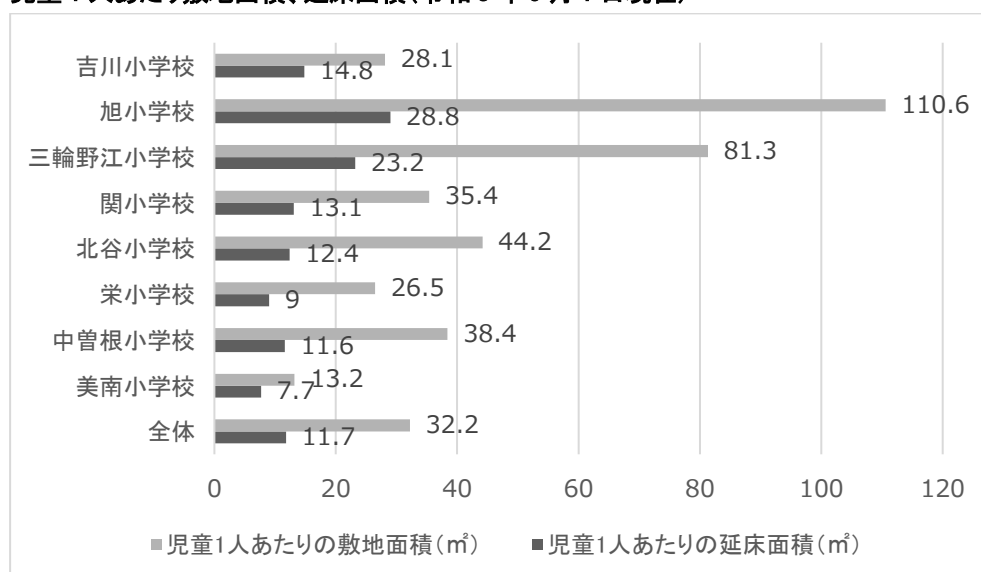
児童1人あたりの敷地面積は、全体で32.2㎡、最大110.6㎡、最小13.2㎡です。児童1人あたりの延床面積は、全体で11.7㎡、最大で28.8㎡、最小で7.7㎡です。

児童1人あたり敷地面積、延床面積(令和3年5月1日現在)

	敷地面積(㎡)	延床面積(㎡)	児童数(人)	1児童あたり敷地面積(㎡)	1児童あたり延床面積(㎡)
吉川小学校	14,524.00	7,641.06	516	28.1	14.8
旭小学校	16,696.00	4,345.00	151	110.6	28.8
三輪野江小学校	16,338.00	4,660.00	201	81.3	23.2
関小学校	17,085.00	6,301.00	482	35.4	13.1
北谷小学校	18,874.00	5,290.00	427	44.2	12.4
栄小学校	17,417.00	5,911.00	657	26.5	9.0
中曽根小学校	18,874.00	5,673.00	491	38.4	11.6
美南小学校	17,718.61	10,278.56	1,340	13.2	7.7
全体	137,526.61	50,099.62	4,265	32.2	11.7

※ 吉川小学校、北谷小学校、美南小学校の敷地の建物内には他施設も入居、建物の延床面積は、各小学校部分のみを計上

児童1人あたり敷地面積、延床面積(令和3年5月1日現在)



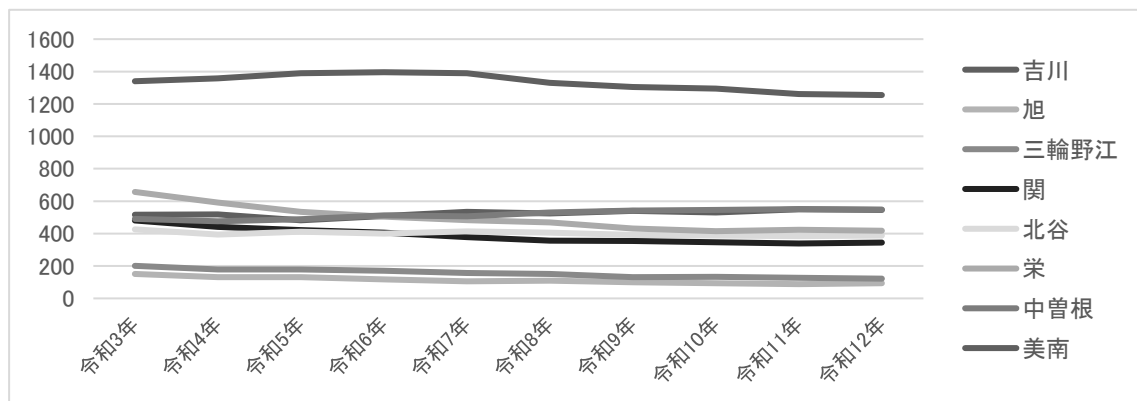
③ 児童数の将来予測

児童数は小学校ごとに増減の幅が異なります。増加は、吉川小学校、中曽根小学校が微増となる一方、北谷小学校、美南小学校は微減、旭、三輪野江、栄の各小学校は3割の減少、関小学校は2割の減少が見込まれています。

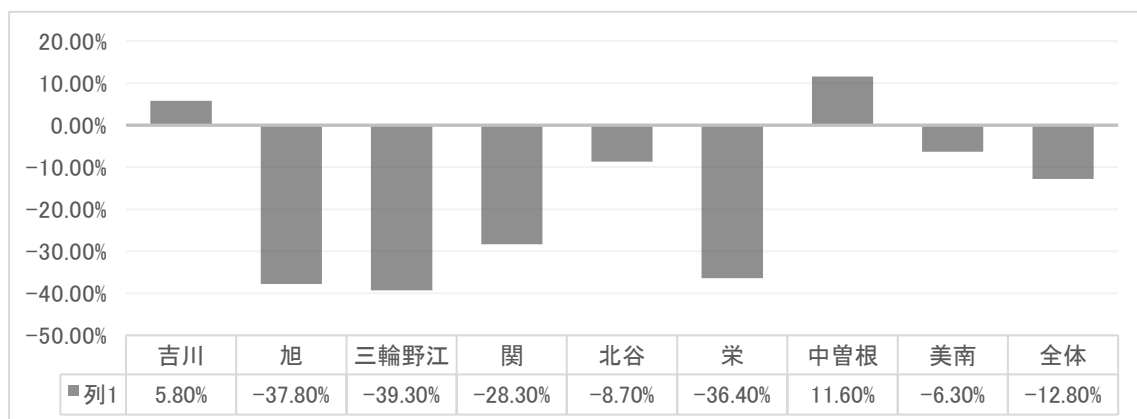
将来の児童数予測(人)

	吉川 小学校	旭 小学校	三輪野江 小学校	関 小学校	北谷 小学校	栄 小学校	中曽根 小学校	美南 小学校	全体
令和3年	516	151	201	481	427	657	491	1,340	4,265
令和4年	519	131	178	441	394	591	476	1,358	4,088
令和5年	482	132	178	422	412	534	488	1,390	4,038
令和6年	508	118	170	405	400	504	513	1,396	4,014
令和7年	535	105	157	378	414	482	507	1,389	3,967
令和8年	525	109	150	357	405	469	530	1,330	3,875
令和9年	540	100	131	354	391	432	542	1,304	3,794
令和10年	530	93	133	347	389	415	547	1,294	3,748
令和11年	550	88	128	339	384	424	551	1,261	3,725
令和12年	546	94	122	345	389	418	548	1,255	3,717
令和3-12 年増減率	5.8%	▲37.8%	▲39.3%	▲28.3%	▲8.7%	▲36.4%	11.6%	▲6.3%	▲12.8%

児童数の将来予測(人)



児童数の増減予測(%) (令和3~12年)



(4)コストの状況

美南小学校が最も人数が多く、歳出合計は多くなっています。児童1人あたりの総コストは5～10万円程度です。

コスト一覧(令和2年度)

	施設名	吉川 小学校	旭 小学校	三輪野江 小学校	関 小学校	北谷 小学校	栄 小学校	中曽根 小学校	美南 小学校
維持管理 コスト	正職員数	1人	1人	0人	0人	1人	0人	0人	0人
	会計年度 任用職員数	0人	0人	1人	1人	0人	1人	1人	1人
	会計年度 任用職員人件費	0千円	0千円	1,193千円	1,671千円	0千円	1,443千円	1,717千円	1,670千円
	修繕費	1,789千円	2,890千円	2,693千円	2,300千円	2,411千円	4,442千円	1,772千円	3,061千円
	光熱水費(※1)	6,217千円	2,810千円	3,453千円	4,291千円	5,214千円	4,822千円	4,521千円	9,361千円
	その他直接事業費	10,250千円	3,279千円	4,108千円	10,062千円	8,630千円	13,133千円	9,270千円	24,194千円
	正職員人件費	8,302千円	4,772千円	0千円	0千円	4,011千円	0千円	0千円	0千円
	(直接投入人員)	1.00人	1.00人	0.00人	0.00人	1.00人	0.00人	0.00人	0.00人
	(間接投入人員)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
	計	26,558千円	13,751千円	11,447千円	18,324千円	20,266千円	23,840千円	17,280千円	38,286千円
事業運営 コスト	会計年度 任用職員人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他直接 事業費(※2)	11,170千円	3,573千円	4,476千円	10,965千円	9,405千円	14,312千円	10,103千円	26,366千円
	正職員人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
	(直接投入人員)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
	(間接投入人員)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
	計	11,170千円	3,573千円	4,476千円	10,965千円	9,405千円	14,312千円	10,103千円	26,366千円
歳出合計	37,728千円	17,324千円	15,923千円	29,289千円	29,671千円	38,152千円	27,383千円	64,652千円	
児童1人あたり 総コスト(円)	69,353	99,563	73,041	54,848	64,784	54,737	55,657	50,352	
令和2年 児童数(人)	544	174	218	534	458	697	492	1,284	

※1: 吉川小学校の光熱水費は、高齢者ふれあい広場の分を含む。美南小学校の光熱水費は、高齢者ふれあい広場及び子育て支援センターの分を含む。

※2: 学校運営事業及び教育機器整備事業費用のうち臨時的にかかった経費を除く20,680千円を児童数に応じて按分した。

2 中学校

(1) 施設の状況

4つの中学があります。

施設の状況

施設名	建物数(棟)	延床面積(m ²)	敷地面積(m ²)	所在地
東中学校	8	8,310.00	27,960.00	上笹塚
南中学校	12	9,304.00	30,296.00	保
中央中学校	8	7,708.00	48,369.00	中央二丁目
吉川中学校	4	10,477.00	28,371.54	美南五丁目
合計	32	35,799.00	134,996.54	

(2) 建物の状況

① 全体

32棟の建物があり、校舎、屋内運動場・プールでほとんどの面積を占めます。

建物の状況

	棟数	延床面積(m ²)	延床面積の比率
校舎	10	27,383.00	76.5%
屋内運動場・プール	7	6,991.00	19.5%
その他	15	1,425.00	4.0%
合計	32	35,799.00	100.0%

② 校舎・屋内運動場の耐震化の状況

すべての校舎及び屋内運動場は耐震化されています。

③ 経年の状況

30年超の校舎が9棟、屋内運動場・プールが2棟あります。

経年の状況

経年	校舎		屋内運動場・プール		その他		合計	
	棟	床面積(m ²)	棟	床面積(m ²)	棟	床面積(m ²)	棟	床面積(m ²)
10年以下	1	8,772.00	1	1,545.00	2	160.00	4	10,477.00
10年超20年以下	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
20年超30年以下	0	0.00	4	2,624.00	5	196.00	9	2,820.00
30年超40年以下	4	10,050.00	1	1,400.00	8	1,069.00	13	12,519.00
40年超	5	8,561.00	1	1,422.00	0	0	6	9,983.00
合計	10	27,383.00	7	6,991.00	15	1,425.00	32	35,799.00

建物一覧

施設名	建物名	延床面積 (㎡)	建築年度	経年	階	構造	耐震 診断	耐震 改修	大規模 改修
東 中学校	校舎	3,767.00	平成 2(1990)年	31	4	鉄筋コンクリート造	不要	不要	平成 29 年
	校舎	2,051.00	平成 2(1990)年	31	3	鉄筋コンクリート造	不要	不要	平成 29 年
	屋内運動場	1,508.00	平成 9(1997)年	24	2	鉄筋コンクリート造	不要	不要	
	駐輪場	432.00	平成 2(1990)年	31	2	鉄骨造	不要	不要	
	駐輪場	432.00	平成 2(1990)年	31	2	鉄骨造	不要	不要	
	部室棟	61.00	平成 4(1992)年	29	1	CB造	不要	不要	平成 29 年
	体育庫	47.00	平成 4(1992)年	29	1	鉄骨造	不要	不要	
プロパン庫	12.00	平成 2(1990)年	31	1	CB造	不要	不要	平成 29 年	
南 中学校	校舎 (教室棟)	2,056.00	昭和 46(1971)年	50	3	鉄筋コンクリート造	実施済	実施済	平成 7、21 年
	校舎(東側教 室棟)	1,222.00	昭和 56(1981)年	40	3	鉄筋コンクリート造	不要	不要	平成 7、21 年
	校舎(特別教 室棟)	1,087.00	昭和 46(1971)年	50	3	鉄筋コンクリート造	実施済	実施済	平成 7、21 年
	昇降所棟	198.00	昭和 46(1971)年	50	2	鉄筋コンクリート造	実施済	実施済	平成 7、21 年
	管理棟	2,226.00	昭和 46(1971)年	50	3	鉄筋コンクリート造	実施済	実施済	平成 7、21 年
	屋内運動場	1,422.00	昭和 46(1971)年	50	2	鉄骨造	実施済	実施済	平成 22 年
	プール付属棟	845.00	平成 5(1993)年	28	1	鉄骨造	不要	不要	
	格技場	100.00	平成 8(1996)年	25	1	鉄骨造	不要	不要	
	体育器具庫	68.00	平成 5(1993)年	28	1	鉄骨造	不要	不要	
	部室棟	32.00	平成元(1989)年	32	1	鉄骨造	不要	不要	
	給食受取室	30.00	昭和 56(1981)年	40	1	鉄骨造	実施済	実施済	平成 7、21 年
	部室棟	18.00	平成元(1989)年	32	1	鉄骨造	不要	不要	
中央 中学校	校舎(普通教 室棟)	3,010.00	昭和 56(1981)年	40	4	鉄筋コンクリート造	実施済	実施済	平成 18 年
	校舎(普通教 室棟)	2,994.00	昭和 55(1980)年	41	3	鉄筋コンクリート造	実施済	実施済	平成 18 年
	屋内運動場	1,400.00	昭和 56(1981)年	40	2	鉄骨造	不要	不要	
	プール付属棟	171.00	平成 4(1992)年	29	1	鉄骨造	不要	不要	
	部室棟	105.00	昭和 56(1981)年	40	1	鉄骨造	未実施	未実施	
	倉庫	15.00	平成 5(1993)年	28	1	鉄骨造	不要	不要	
	倉庫	8.00	昭和 58(1983)年	38	1	鉄骨造	不要	不要	
倉庫	5.00	平成 5(1993)年	28	1	鉄骨造	不要	不要		
吉川 中学校	校舎・プール	8,826.00	平成 31(2019)年	2	4	鉄筋コンクリート造	不要	不要	
	屋内運動場	1,491.00	平成 31(2019)年	2	2	鉄筋コンクリート造	不要	不要	
	体育倉庫	90	平成 31(2019)年	2	1	鉄筋コンクリート造	不要	不要	
	部室棟	70	平成 31(2019)年	2	1	鉄筋コンクリート造	不要	不要	

網掛け:校舎、太枠:屋内運動場・プール

(3)利用の状況

① 全体

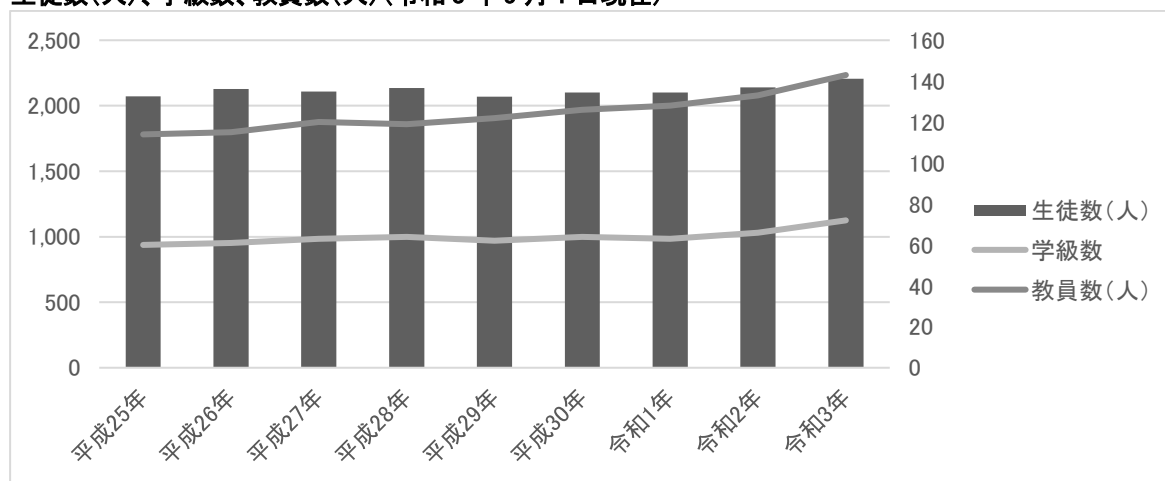
生徒数は横ばいですが、地域によって増減があります。

令和2年4月に吉川中学校が、南中学校より分離・生徒数402名、職員数27名で開校しました。南中学校は吉川中学校への分離に伴い、全校児童数545名、学級数17学級、教職員数36名となりました。

学校数、学級数、生徒数、教員数(令和3年5月1日現在)

	学校数	学級数	生徒数(人)	教員数(人)
平成25年	3	60	2,072	114
平成26年	3	61	2,129	115
平成27年	3	63	2,108	120
平成28年	3	64	2,134	119
平成29年	3	62	2,069	122
平成30年	3	64	2,101	126
令和元年	3	63	2,100	128
令和2年	4	66	2,141	133
令和3年	4	72	2,206	143

生徒数(人)、学級数、教員数(人)(令和3年5月1日現在)



1学級あたりの生徒数は、全体で30.6人、最多で33.2人、最少で26.6人です。

1学級あたり生徒数(人)(令和3年5月1日現在)

	学級数	生徒数(人)	教員数(人)	1学級あたり生徒数(人)
東中学校	13	412	27	31.7
南中学校	19	506	40	26.6
中央中学校	23	723	43	31.4
吉川中学校	17	565	33	33.2
全体	72	2,206	143	30.6

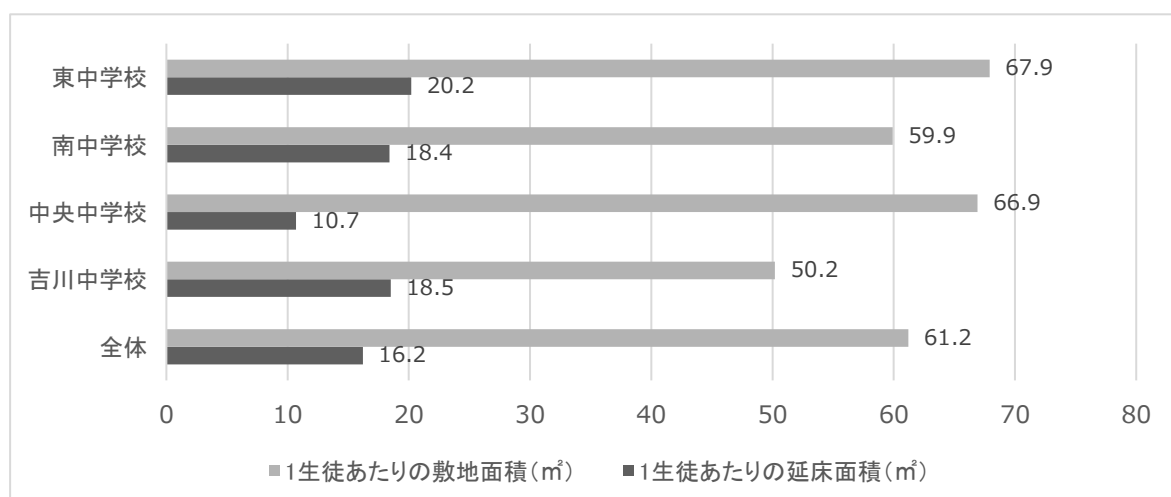
② 生徒1人あたりの敷地面積、延床面積(令和3年5月1日現在)

生徒1人あたりの敷地面積は、全体で61.2㎡、吉川中学校が50.2㎡と小さくなっています。生徒1人あたりの延床面積では、全体で16.2㎡で、東中学校が20.2㎡とやや大きくなっています。

生徒1人あたり敷地面積、延床面積(㎡)

	敷地面積(㎡)	延床面積(㎡)	生徒数(人)	生徒1人あたり敷地面積(㎡)	生徒1人あたり延床面積(㎡)
東中学校	27,960.00	8,310.00	412	67.9	20.2
南中学校	30,296.00	9,304.00	506	59.9	18.4
中央中学校	48,369.00	7,708.00	723	66.9	10.7
吉川中学校	28,371.54	10,477.00	565	50.2	18.5
全体	134,996.54	35,799.00	2,206	61.2	16.2

生徒1人あたり敷地面積、延床面積(㎡)



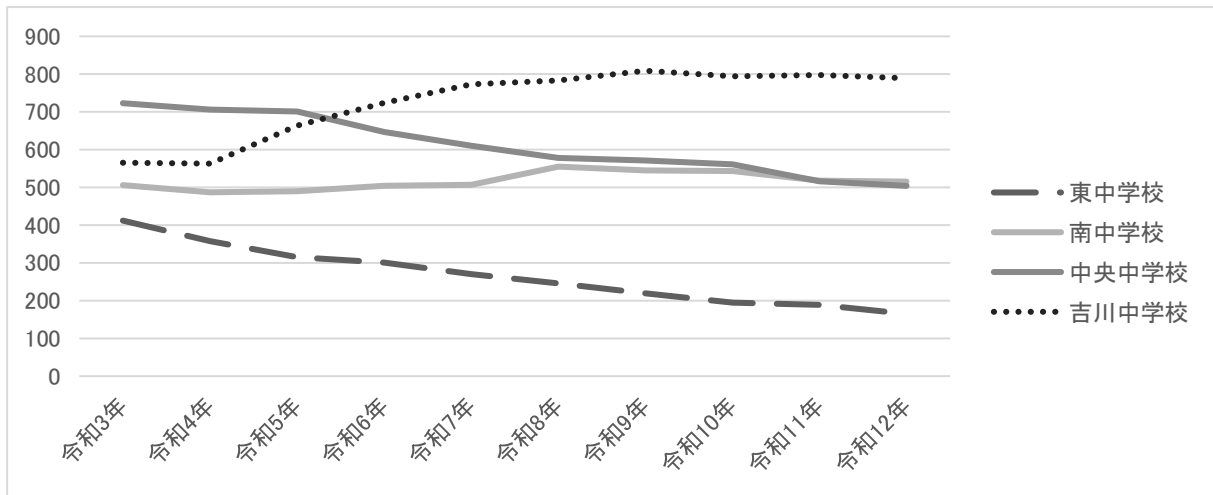
③ 生徒数の将来予測

生徒数の将来予測では、東中学校と中央中学校が大幅減、南中学校が微増、吉川中学校が大幅増となっています。

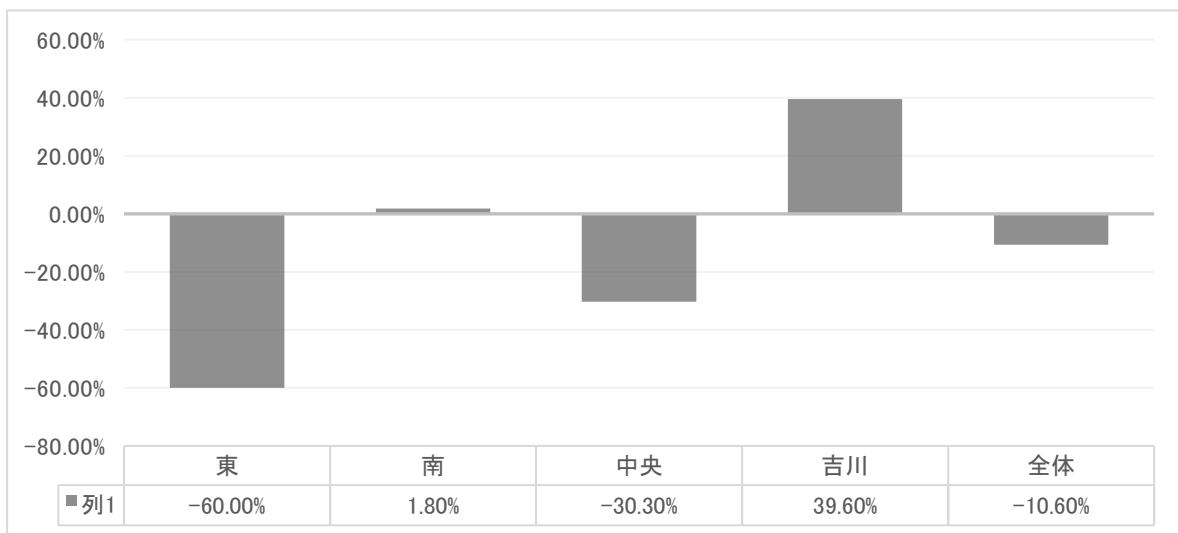
生徒数の将来予測(人)

	東中学校	南中学校	中央中学校	吉川中学校	合計
令和3年	412	506	723	565	2,206
令和4年	358	487	706	563	2,114
令和5年	315	490	701	664	2,170
令和6年	301	504	647	724	2,176
令和7年	270	507	610	773	2,160
令和8年	246	555	578	783	2,162
令和9年	219	545	571	809	2,144
令和10年	195	543	561	794	2,093
令和11年	189	518	516	798	2,021
令和12年	165	515	504	789	1,973
令和3-12年増減率	▲60.0%	1.8%	▲30.3%	39.6%	▲10.6%

生徒数の将来予測(人)



生徒数の増減予測(%) (令和3~12年)



(4)コストの状況

中央中学校・東中学校のみ正職員分の人件費があり、その分が割高になっています。生徒1人あたりの総コストは、53～66千円程度です。

コスト一覧(令和2年度)

	施設名	東中学校	南中学校	中央中学校	吉川中学校
維持管理コスト	正職員数	1人	0人	1人	0人
	会計年度任用職員数	0人	1人	0人	1人
	会計年度任用職員人件費	0千円	1,743千円	0千円	1,587千円
	修繕費	3,275千円	2,103千円	1,963千円	69千円
	光熱水費	4,684千円	5,617千円	6,211千円	5,135千円
	その他直接事業費	4,059千円	5,268千円	6,975千円	3,768千円
	正職員人件費	4,757千円	0千円	4,721千円	0千円
	(直接投入人員)	1.00人	0.00人	1.00人	0.00人
	(間接投入人員)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
	計	16,775千円	14,731千円	19,870千円	10,559千円
事業運営コスト	会計年度任用職員人件費	0千円	0千円	0千円	0千円
	その他直接事業費(※)	11,942千円	15,500千円	20,519千円	11,087千円
	正職員人件費	0千円	0千円	0千円	0千円
	(直接投入人員)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
	(間接投入人員)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
	計	11,942千円	15,500千円	20,519千円	11,087千円
歳出合計	28,717千円	30,231千円	40,389千円	21,646千円	
生徒1人あたり総コスト(円)	66,321	53,792	54,286	53,846	
令和2年生徒数(人)	433	562	744	402	

(※)学校運営事業及び教育機器整備事業のうち臨時的にかかった経費を除く60,840千円を生徒数に応じて按分

3 給食施設

(1) 施設の状況

吉川市立学校給食センター条例により、学校給食法(昭和29年法律第160号)第3条第1項の規定に基づく学校給食の実施に関し経済負担及び管理運営の合理化を図るため、設置された施設です。

なお、第一給食センター、第二給食センター及び関小学校、栄小学校の給食調理場を統合し、平成28年4月よりPFI方式で新たな給食センターが稼働しています。

① 施設概要

項目	内容
所在地	吉川市大字川藤字前新田 3265-1
敷地面積	7,531 m ²
建築面積	2,367.85 m ²
延べ面積	2,956.48 m ² (センター：2,916.48 m ² 、駐輪場：40 m ²)
構造	鉄骨造2階
開設日	平成28年4月1日
調理能力	7,500食/日 (実調理食数：約7,000食 (令和3年4月現在))
主な特徴	①HACCP対応の衛生管理、ドライシステムの導入 ②耐震安全性に優れ、食物アレルギー食に対応した施設整備 ③見学者通路を設けるなど食育の推進に寄与 ④太陽光パネルや高効率型器具等を導入しLCCを低減

② PFIによる学校給食センター整備運営事業

項目	内容
事業期間	平成26年6月11日より令和13年3月31日まで
運営開始日	平成28年4月1日
事業方式	PFI手法BTO方式 (民間が自ら資金調達を行って施設を建設した後、施設の所有権を公共に移転し、施設の管理運営を行う方式)
事業範囲	①新学校給食センターの設計・建設及び維持管理・運営 ②既存学校給食センター及び既存学校給食調理場の解体・撤去 ③関小学校及び栄小学校の配膳室の増築
市が行う業務	献立の作成、食材の調達・検収、検食、給食費の徴収管理、食育指導など
事業者選定方法	総合評価方式による一般競争入札
事業者	(株)吉川スクールランチサービス 代表企業：(株)グリーンハウス 構成企業：(株)松田平田設計、(株)安藤・間、(株)フジマック、 三菱電機ビルテクノサービス(株)、八千代エンジニアリング(株)
契約金額	6,683,509,019円 (消費税及び地方消費税を含む)：令和3年3月末現在

(2)利用の状況

給食センターの利用状況

年度	調理能力/日	稼働日数	年間調理食数	給食総量(kg)	配食校等
平成30年度	7,500	189	1,267,503	847,234	吉小、旭小、三輪野江小、関小、北谷小、栄小、中曽根小、美南小、東中、南中、中央中、吉川中、少年センター
令和元年度	7,500	171	1,153,960	778,728	
令和2年度	7,500	165	1,147,926	675,190	

(3)コストの状況

1食あたりの総コストは、306円です。

コスト一覧(平成30年度)

	施設名	給食センター
維持管理コスト	正職員数	3人
	会計年度任用職員数	0人
	会計年度任用職員人件費	0千円
	修繕費	0千円
	光熱水費	40,848千円
	その他直接事業費(PFI事業費)	54,947千円
	正職員人件費	19,804千円
	(直接投入人員)	0.05人
	(間接投入人員)	0人
	計	115,599千円
事業運営コスト	会計年度任用職員人件費	10,628千円
	その他直接事業費	353,120千円
	正職員人件費	0千円
	(直接投入人員)	2.5人
	(間接投入人員)	0人
	指定管理料(PFI事業費)	250,182千円
計	613,930千円	
	歳出合計	729,529千円
歳入	使用料等	0千円
	補助金等	0千円
	その他収入	341,123千円
	歳入合計	351,447千円
	総コスト	388,406千円
	平成30年度年間食数	1,267,503食
	1食当たりのコスト(円)	306円

※令和元年・令和2年度はコロナ対策のため年間食数に変動があったため平成30年度で算出

4 少年センター

(1) 施設の状況

吉川市少年センター条例により、少年の健全な育成を目的として非行防止対策の総合的な推進を図るため、設置された施設です。少年センターは、次に掲げる業務を行うとされています。

- ① 少年相談に関すること。
- ② 少年補導に関すること。
- ③ 環境浄化に関すること。
- ④ 少年問題に関する情報及び資料の収集整備に関すること。
- ⑤ その他少年の非行防止に必要な業務に関すること。

施設の状況

施設名	建物数(棟)	延床面積(m ²)	敷地面積(m ²)	所在地
少年センター	2	327.87	968.00	吉川一丁目

(2) 建物の状況

建物一覧

建物名	延床面積(m ²)	建築年度	経年	階	構造	耐震診断	耐震改修
少年センター	315.00	昭和46年	50	1	鉄筋コンクリート造	必要	—
倉庫	12.87	昭和46年	50	1	軽量鉄骨造	必要	—

(3) コストの状況

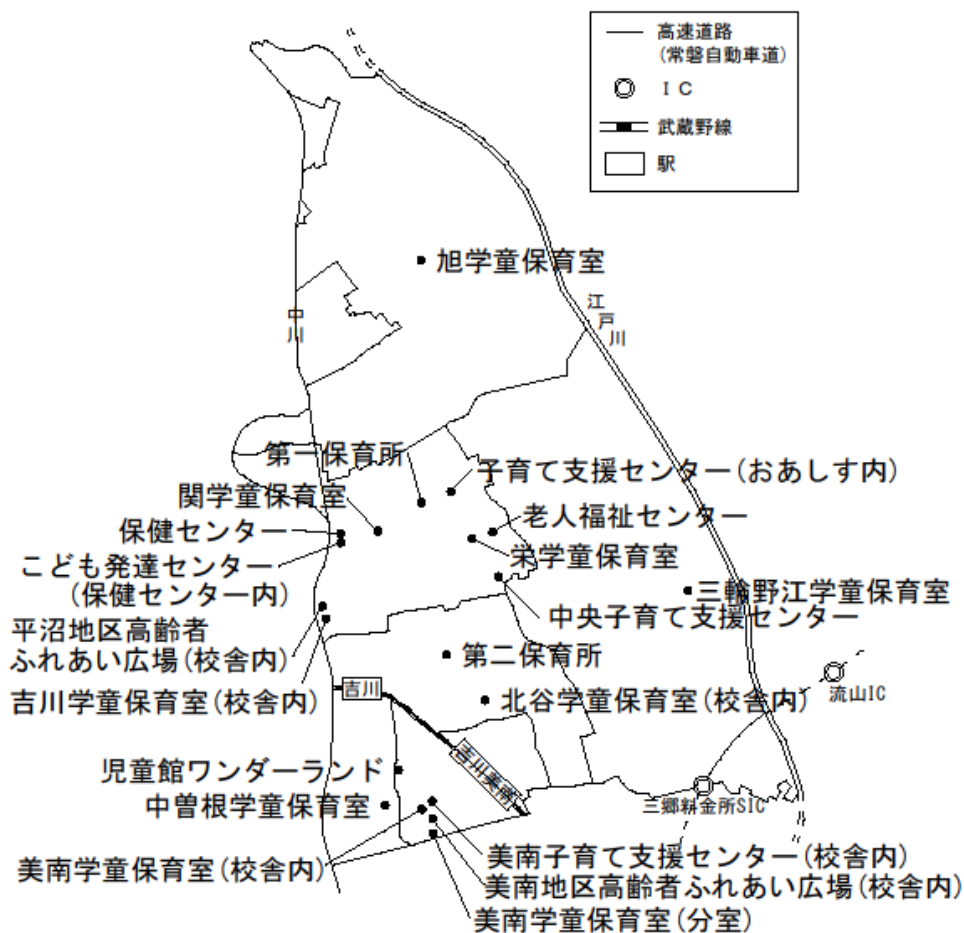
年間の総コストは約2千1百万円です。

コスト一覧(令和2年度)

	施設名	少年センター
維持管理コスト	正職員数	2人
	会計年度任用職員数	0人
	会計年度任用職員人件費	0千円
	修繕費	1,673千円
	光熱水費	692千円
	その他直接事業費	1,268千円
	正職員人件費	2,196千円
	(直接投入人員)	0.290人
	(間接投入人員)	0
	計	5,829千円
事業運営コスト	会計年度任用職員人件費	6,359千円
	その他直接事業費	970千円
	正職員人件費	7,877千円
	(直接投入人員)	1.19千円
	(間接投入人員)	0千円
	計	15,206千円
歳出合計		21,035千円
歳入	使用料等	0千円
	補助金等	千円
	その他収入	0千円
	歳入合計	千円
総コスト		21,035千円

2 保健福祉施設

保健福祉施設の位置



1 高齢者福祉施設

(1) 施設の状況

老人福祉センターは、高齢者の健康維持・増進、教養の向上及びレクリエーション、さらには広い仲間づくりのための便宜を総合的に供与するため、老人福祉法(昭和38年法律第133号)第15条第5項の規定に基づき設置された施設です。

施設一覧

施設名	建物数 (棟)	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	状況	所在地
老人福祉センター	2	814.34	3,358.00		中央三丁目
平沼地区高齢者ふれあい広場	-	180.29		吉川小学校と複合	平沼
美南地区高齢者ふれあい広場	-	240.00		美南小学校と複合	美南四丁目

複合化の状況

平沼地区高齢者ふれあい広場、美南地区高齢者ふれあい広場は以下のように複合化されています。

吉川小学校、吉川学童保育室、平沼地区高齢者ふれあい広場、平沼地区公民館 (㎡)

建物		建物延床面積合計	施設			
			吉川小学校	吉川学童保育室	平沼地区高齢者ふれあい広場	平沼地区公民館
校舎	3階建	7,610.21	6,955.06	145.92	180.29	328.94
屋内運動場	平屋建	630.00	630.00			
体育器具庫	平屋建	56.00	56.00			
施設合計		-	7,641.06	145.92	180.29	328.94

敷地面積 14,524.00

美南小学校、美南学童保育室、美南地区高齢者ふれあい広場、美南子育て支援センター、美南地区公民館 (㎡)

建物		建物延床面積合計	施設					共用部分
			美南小学校	美南学童保育室	美南地区高齢者ふれあい広場	美南子育て支援センター	美南地区公民館	
校舎	3階建	8,835.46	7,760.46	358.00	182.00	105.00	299.00	131.00
校舎	2階建	1,520.20	1,520.20					
体育館	平屋建	874.00	874.00					
屋外便所・倉庫	平屋建	75.00	75.00					
駐輪場	平屋建	19.55	19.55					
駐輪場	平屋建	19.55	19.55					
ごみ置き場	平屋建	10.00	10.00					
施設合計		-	10,278.76	358.00	182.00	105.00	299.00	131.00

敷地面積 17,718.61

(2) 建物の状況

老人福祉センターには2棟の建物があります。

建物一覧

建物名	延床面積(㎡)	建築年度	経年	階	構造	耐震診断	耐震改修
老人福祉センター	697.59	昭和53(1978)年	43	1	鉄筋コンクリート造	未実施(※)	未実施
老人福祉センター	116.75	平成11年	22	1	木造	不要	不要

※ 1次診断は実施済です。

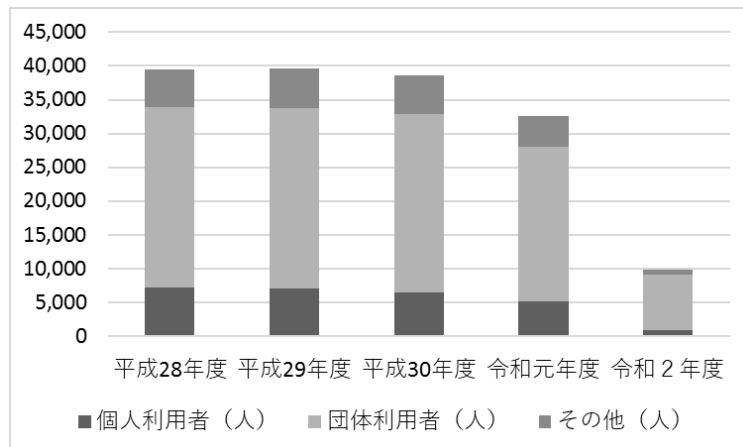
(3) 利用の状況

総利用者が減少していますが、個人利用者の減少によるものです。また、令和元年度と令和2年度は新型コロナウイルス感染防止のため休館した期間があり、その影響が生じています。

老人福祉センターの利用状況(人)

	総利用者(人)	個人利用者(人)	団体利用者(人)	その他(人)
平成28年度	39,542	7,181	26,743	5,618
平成29年度	39,327	7,066	26,743	5,871
平成30年度	38,638	6,500	26,393	5,745
令和元年度	32,544	5,146	22,933	4,465
令和2年度	9,888	927	8,109	852

老人福祉センターの利用状況(人)



(4)コストの状況

老人福祉センターの総コストは約 30 百万円、利用者 1 人あたりの総コストは 790 円です。

コスト一覧(平成 30 年度)

	施設名	老人福祉センター	平沼地区高齢者 ふれあい広場	美南地区高齢者 ふれあい広場
維持管理コスト	正職員数	0 人	0 人	0 人
	会計年度任用職員数	0 人	0 人	0 人
	会計年度任用職員人件費	0 千円	0 千円	0 千円
	修繕費	1,558 千円	0 千円	0 千円
	光熱水費	0 千円	0 千円	0 千円
	その他直接事業費	2,502 千円	(※)6,772 千円	(※)5,540 千円
	正職員人件費	0 千円	0 千円	0 千円
	(直接投入人員)	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	(間接投入人員)	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	計	4,060 千円	6,772 千円	5,540 千円
事業運営コスト	会計年度任用職員人件費	0 千円	0 千円	0 千円
	その他直接事業費	0 千円	0 千円	0 千円
	正職員人件費	0 千円	0 千円	0 千円
	(直接投入人員)	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	(間接投入人員)	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	計	0 千円	0 千円	0 千円
	指定管理料	26,595 千円	0 千円	0 千円
	歳出合計	30,655 千円	6,772 千円	5,540 千円
歳入	使用料等	70 千円	0 千円	0 千円
	補助金等	0 千円	0 千円	0 千円
	その他収入	60 千円	0 千円	0 千円
	歳入合計	130 千円	0 千円	0 千円
	総コスト	30,525 千円	6,772 千円	5,540 千円
	収支比率	0.42%	-	-

※:ふれあいデイサービス事業及び介護予防事業委託料を含む

施設名	老人福祉センター	平沼地区高齢者 ふれあい広場	美南地区高齢者 ふれあい広場
利用者 1 人あたり総コスト(円)	790	2,950	2,593
平成30年度利用人数(人)	38,638	2,295	2,136

2 児童福祉施設

(1) 保育所

① 施設の状況

吉川市保育所条例により、児童福祉法(昭和 22 年法律第 164 号)第 35 条第 3 項の規定に基づき設置された施設です。

施設一覧

施設名	建物数(棟)	延床面積(m ²)	敷地面積(m ²)	所在地
第一保育所	3	805.00	2,500.01	きよみ野二丁目
第二保育所	2	858.18	1,860.70	木売新田

施設の状況

	第一保育所	第二保育所
開所時間	平日午前 7 時から午後 7 時まで 土曜日午前 7 時から午後 5 時まで	平日午前 7 時から午後 7 時まで 土曜日午前 7 時から午後 5 時まで
入所定員	0 歳:定員 6 人 1 歳:定員 10 人 2 歳:定員 16 人 3 歳:定員 18 人 4 歳:定員 19 人 5 歳:定員 21 人 合計 90 人	0 歳:定員 6 人 1 歳:定員 8 人 2 歳:定員 10 人 3 歳:定員 15 人 4 歳:定員 18 人 5 歳:定員 20 人 合計 77 人
受入年齢	生後 6 ヶ月から小学校就学未満	生後 6 ヶ月から小学校就学未満

② 建物の状況

第一保育所には 3 棟、第二保育所には 2 棟の建物があります。第二保育所については、非耐震であったことなどから、令和元年度に建て替えを行っています。

建物一覧

施設名	建物名	延床面積 (m ²)	建築年度	経年	階	構造	耐震診断	耐震改修
第一 保育所	保育所	718.80	平成 4 年	29	1	鉄骨造	不要	不要
	保育所	16.00	平成 11 年	22	1	鉄骨造	不要	不要
	物置	23.00	平成 5 年	28	1	木造	不要	不要
第二 保育所	保育所	842.14	令和元年	2	2	軽量鉄骨造	不要	不要
	物置	16.04	令和元年	2	1	プレハブ造	不要	不要

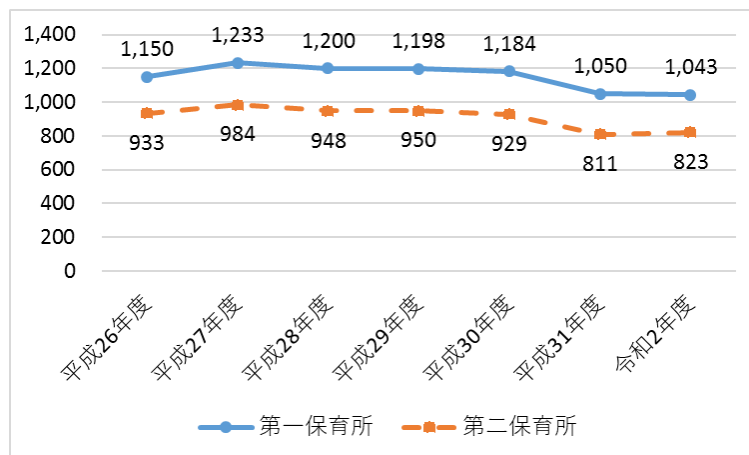
③ 利用の状況

就学前児童の増加や共働き世帯の増加などにより、市全体の保育利用申込件数は増加傾向にあります。市立保育所の利用者数は横ばいからやや減少傾向が見られますが、入所可能定員数の9割以上の入所率（利用率）となっています。

市立保育所の年間延べ保育児数(人)

	市立保育所数	保育児数(人)
平成26年度	2	2,083
平成27年度	2	2,217
平成28年度	2	2,148
平成29年度	2	2,148
平成30年度	2	2,113
平成31年度	2	1,861
令和2年度	2	1,866

市立保育所における保育児数(人)



市立保育所の保育児数(人) (令和3年4月1日現在)

第一保育所	83
第二保育所	70

《参考》 市内の私立保育施設

市内には以下の私立保育施設があります。

市内の私立保育施設

区分	名称	所在地	定員
認可保育所	青葉保育園	木売新田	100名
	よしかわエンゼル保育園	木売新田	140名
	育暎保育園	高富二丁目	90名
	吉川つばさ保育園	保一丁目	60名
	コピープリスクールよしかわみなみ	美南四丁目	100名
	コピープリスクールよしかわステーション	木売一丁目	80名
	かほ保育園	美南四丁目	90名

	きらり美南保育園	美南四丁目	60名
	吉川美南ちとせ保育園	美南五丁目	90名
	つつじ保育園	美南二丁目	90名
	よしかわ杜の保育園	中央一丁目	90名
	よしかわフラワー保育園	吉川団地	60名
認定こども園	吉川さくらの森	保一丁目	120名
小規模保育事業	こぐま保育園	木売一丁目	19名
	こぐま保育園マミー	保一丁目	19名
	ふえありい保育園吉川園	吉川一丁目	19名
	ナーサリールームつばさ	保一丁目	19名
	hoiku 縁	美南四丁目	17名
	おひさま保育園	吉川一丁目	19名
	ふえありい保育園吉川美南園	高富一丁目	19名

④ コストの状況

維持管理コストは8百～1千万円程度ですが、第二保育所は令和元年度に建て替えをしていることから、第一保育所に比べて維持管理コストが少なくなっています。なお、事業運営コストの人件費が大きいため、総コストでは1.1億円程度となっています。

保育児1人あたりの総コストは、1.3百万円程度になります。

コスト一覧(令和2年度)

	施設名	第一保育所	第二保育所
	正職員数	10人	10人
	会計年度任用職員数	0人	0人
維持管理コスト	会計年度任用職員人件費	0千円	0千円
	修繕費	1,919千円	30千円
	光熱水費	2,375千円	1,645千円
	その他直接事業費	3,900千円	3,749千円
	正職員人件費	2,424千円	2,424千円
	(直接投入人員)	0.32人	0.32人
	(間接投入人員)	0.00人	0.00人
	計	10,618千円	7,848千円
	事業運営コスト	会計年度任用職員人件費	38,983千円
その他直接事業費		8,526千円	7,322千円
正職員人件費		75,740千円	75,740千円
(直接投入人員)		10.00人	10.00人
(間接投入人員)		0.00人	0.00人
計		123,249千円	105,187千円
	歳出合計	133,867千円	113,035千円
歳入	使用料等	7,233千円	4,633千円
	補助金等	6,891千円	6,891千円
	その他収入	7,674千円	3,423千円
	歳入合計	21,798千円	14,947千円
	総コスト	112,069千円	98,088千円
	収支比率	16.3%	13.2%

※上記コストについては、新型コロナウイルス感染症対策に関する経費を除いているため、決算額とは一致しません。

利用者 1 名あたり総コスト(円)

施設名	第一保育所	第二保育所
利用者 1 名あたり総コスト(円)	1,288,149	1,421,565
令和 2 年度利用人数(人)	87	69

※上記利用人数は年間の延べ利用者数を 12 月で除したものの。

(2) 学童保育室

① 施設の状況

吉川市学童保育条例により、児童福祉法(昭和 22 年法律第 164 号)第 6 条の 3 第 2 項に規定する放課後児童健全育成事業を行う施設として設置されています。学童保育室は、保護者の就労または疾病などにより、家庭で十分保育することができない児童を家庭の保護者に代わって保育をすることにより、児童の健全な育成を図ることを目的としています。

施設一覧

施設名	建物数 (棟)	延床面積 (㎡)	敷地面積(㎡)	状況	所在地
吉川学童保育室	-	145.92	-	吉川小学校と複合	平沼
旭学童保育室	1	77.00	-	旭小学校と併設	南広島
三輪野江学童保育室	1	77.00	-	三輪野江小学校と併設	加藤
関学童保育室	1	376.00	-	関小学校と併設	吉川団地
北谷学童保育室	-	120.00	-	北谷小学校と複合	高富
栄学童保育室	2	447.14	831.00		中央三丁目
中曽根学童保育室	2	180.00	-	中曽根小学校と併設	中曽根二丁目
美南学童保育室(本室)	-	358.00	-	美南小学校と複合	美南四丁目
美南学童保育室(分室)	2	350.63	617.43	-	美南四丁目

複合化の状況

吉川学童保育室、北谷学童保育室、美南学童保育室は、以下のように吉川小学校、北谷小学校、美南小学校と複合化しています。

吉川小学校、吉川学童保育室、平沼地区高齢者ふれあい広場、平沼地区公民館 (㎡)

建物	建物延床 面積合計	施設			
		吉川 小学校	吉川 学童保育室	平沼地区 高齢者 ふれあい広場	平沼地区 公民館
校舎	3 階建 7,610.21	6,955.06	145.92	180.29	328.94
屋内運動場	平屋建 630.00	630.00			
体育器具庫	平屋建 56.00	56.00			
施設合計	-	7,641.06	145.92	180.29	328.94

敷地面積 14,524.00

北谷小学校、北谷学童保育室

(㎡)

建物		建物延床面積合計	施設	
			北谷小学校	北谷学童保育室
西側教室棟	4階建	1,584.00	1,464.00	120.00
東側教室棟	4階建	1,236.00	1,236.00	
給食受取室	平屋建	24.00	24.00	
東側教室棟	4階建	1,212.00	1,212.00	
プール付属棟	平屋建	100.00	100.00	
屋内運動場	平屋建	700.00	700.00	
管理棟	平屋建	554.00	554.00	
施設合計		-	5,290.00	120.00

敷地面積 18,874.00

美南小学校、美南学童保育室、美南地区高齢者ふれあい広場、美南子育て支援センター、美南地区公民館 (㎡)

建物		建物延床面積合計	施設					共用部分
			美南小学校	美南学童保育室	美南地区高齢者ふれあい広場	美南子育て支援センター	美南地区公民館	
校舎	3階建	8,835.46	7,760.46	358.00	182.00	105.00	299.00	131.00
校舎	2階建	1,520.20	1,520.20					
屋内運動場	平屋建	874.00	874.00					
屋外便所・倉庫	平屋建	75.00	75.00					
駐輪場	平屋建	19.55	19.55					
駐輪場	平屋建	19.55	19.55					
ごみ置き場	平屋建	10.00	10.00					
施設合計		-	10,278.76	358.00	182.00	105.00	299.00	131.00

敷地面積 17,718.61

② 建物の状況

独立した建物は9棟あり、最も古いものでは築25年を超えています。

建物一覧

施設名	建物名	延床面積(㎡)	建築年度	経年	階	構造	耐震診断	耐震改修
旭学童保育室	学童保育室	77.00	平成7年	26	1	木造	不要	不要
三輪野江学童保育室	学童保育室	77.00	平成6年	27	1	木造	不要	不要
関学童保育室	学童保育室	376.00	平成23年	10	1	鉄筋コンクリート造	不要	不要
栄学童保育室	学童保育室	297.90	平成18年	15	1	軽量鉄骨造	不要	不要
	学童保育室	149.24	平成22年	11	1	軽量鉄骨造	不要	不要
中曽根学童保育室	学童保育室	99.00	平成7年	26	1	木造	不要	不要
	学童保育室	81.00	平成15年	18	1	軽量鉄骨造	不要	不要
美南学童保育室(分室)	学童保育室	219.56	平成29年	4	1	軽量鉄骨造	不要	不要
	学童保育室	109.82	令和2年	1	1	軽量鉄骨造	不要	不要

③ 利用の状況

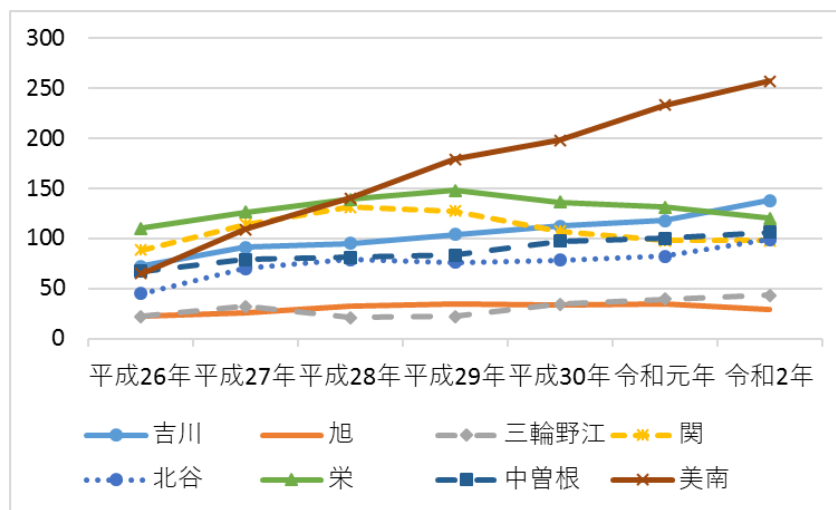
学童保育室の利用対象については、平成26年度までは小学1年生から3年生まででしたが、平成27年度から小学6年生までに拡大したことや、児童数(小学生)の増加などにより、学童保育室の利用児

童数は全体として増加しています。個別に見ると、旭、関、栄の利用児童数は減少傾向となっています。

利用児童数(人)(各年4月1日現在)

施設名	吉川	旭	三輪野江	関	北谷	栄	中曽根	美南	合計
平成26年	72	22	22	88	45	110	67	65	491
平成27年	91	26	32	114	70	126	79	109	647
平成28年	95	32	21	131	79	139	81	140	718
平成29年	104	35	22	127	76	148	83	179	774
平成30年	112	33	34	107	78	136	97	198	795
令和元年	118	35	39	98	82	131	100	233	836
令和2年	138	29	43	98	99	120	106	257	890

利用児童数(人)(各年4月1日現在)



④ コストの状況

学童保育室は利用人数によるクラス数の違いや施設の状況も違うことから、総コストは、6百万円～2千万円程度であり、各学童保育所により差があります。利用者1人あたり総コストも、5万円～30万円程度になっています。

コスト一覧(令和2年度)

	施設名	吉川	旭	三輪野江	関	北谷	栄	中曽根	美南
維持管理コスト	正職員数	0.44人	0.41人	0.41人	0.44人	0.44人	0.44人	0.44人	0.89人
	会計年度任用職員数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	会計年度任用職員人件費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	修繕費	0千円	65千円	64千円	0千円	11千円	114千円	673千円	39千円
	光熱水費	116千円	29千円	158千円	635千円	118千円	979千円	509千円	831千円
	その他直接事業費	141千円	46千円	46千円	70千円	42千円	1,630千円	139千円	1,465千円
	正職員人件費	1,666千円	1,591千円	1,591千円	1,666千円	1,666千円	1,666千円	1,666千円	3,408千円

	(直接投入人員)	0.22 人	0.21 人	0.21 人	0.22 人	0.22 人	0.22 人	0.22 人	0.45 人
	(間接投入人員)	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	計	1,923 千円	1,731 千円	1,859 千円	2,371 千円	1,837 千円	4,389 千円	2,987 千円	5,743 千円
事業運営コスト	会計年度任用職員 人件費	17,171 千円	8,254 千円	7,649 千円	18,715 千円	16,141 千円	17,775 千円	15,971 千円	41,380 千円
	その他直接事業費	3,982 千円	895 千円	1,072 千円	2,954 千円	2,634 千円	3,394 千円	2,930 千円	7,085 千円
	正職員人件費	1,666 千円	1,515 千円	1,515 千円	1,666 千円	1,666 千円	1,666 千円	1,666 千円	3,333 千円
	(直接投入人員)	0.22 人	0.20 人	0.20 人	0.22 人	0.22 人	0.22 人	0.22 人	0.44 人
	(間接投入人員)	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	計	22,819 千円	10,664 千円	10,236 千円	23,335 千円	20,441 千円	22,835 千円	20,567 千円	51,798 千円
	歳出合計	24,743 千円	12,394 千円	12,094 千円	25,707 千円	22,279 千円	27,225 千円	23,555 千円	57,541 千円
歳入	使用料等	7,560 千円	1,494 千円	1,891 千円	5,219 千円	4,503 千円	6,119 千円	5,113 千円	12,826 千円
	補助金等	8,810 千円	2,937 千円	2,937 千円	8,810 千円	8,810 千円	8,810 千円	8,810 千円	20,557 千円
	その他収入	2,701 千円	544 千円	675 千円	1,881 千円	1,619 千円	2,190 千円	1,837 千円	4,614 千円
	歳入合計	19,071 千円	4,975 千円	5,503 千円	15,910 千円	14,932 千円	17,119 千円	15,760 千円	37,997 千円
	総コスト	5,672 千円	7,419 千円	6,591 千円	9,797 千円	7,347 千円	10,106 千円	7,795 千円	19,544 千円
	収支比率	83.6%	46.7%	53.8%	68.2%	73.0%	75.0%	76.6%	73.4%

※上記コストについては、新型コロナウイルス感染症対策等に関する経費を除いているため、決算額とは一致しません。

利用者 1 名あたり総コスト(円)

施設名	吉川	旭	三輪野江	関	北谷	栄	中曽根	美南
利用者 1 人あたり 総コスト(円)	47,660	309,139	219,711	119,470	103,473	105,266	97,432	96,752
令和 2 年度利用人数 (人)	119	24	30	82	71	96	80	202

※上記利用人数は年間の延べ利用者数を 12 月で除したものの。

(3)子育て支援センター

吉川市子育て支援センター条例により、子育てに係る相談、支援情報の提供、親子の交流等を行うことにより、地域全体で子育てを支援する拠点として、設置されています。

センターは、次に掲げる事業を行うとされています。

- ① 子育てに係る相談及び援助に関すること。
- ② 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること。
- ③ 地域における子育て家庭の交流促進に関すること。
- ④ 子育てに関する講習等の実施に関すること。
- ⑤ その他市長が必要と認める事業

① 施設の状況

3 施設ありますが、2 施設は複合施設であり、1 施設は民間施設の一部を賃借しています。

施設一覧

施設名	建物数 (棟)	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	状況	所在地
子育て支援センター	-	15.54	-	市民交流センターお あしすと複合	きよみ野一丁目
中央子育て支援センター	1	75.86	-	団地内に設置	吉川団地
美南子育て支援センター	-	105.00	-	美南小学校と複合	美南四丁目

複合化の状況

子育て支援センター、美南子育て支援センターは、以下のようにそれぞれ市民交流センターおあしす、美南小学校と複合化しています。

市民交流センターおあしす、子育て支援センター、図書館

(㎡)

建物		建物延床 面積合計	施設		
			市民交流センター おあしす	子育て支援 センター	図書館
市民交流センター	2階建	6,075.04	3,788.50	15.54	2,271.00
トイレ	平屋建	57.00	57.00		
施設合計		-	3,845.50	15.54	2,271.00

敷地面積 33,204.00

美南小学校、美南学童保育室、美南地区高齢者ふれあい広場、美南子育て支援センター、美南地区公民館 (㎡)

建物		建物延床 面積合計	施設					共用 部分
			美南 小学校	美南 学童 保育室	美南地区 高齢者 ふれあい 広場	美南子育 て支援 センター	美南 地区 公民館	
校舎	3階建	8,835.46	7,760.46	358.00	182.00	105.00	299.00	131.00
校舎	2階建	1,520.20	1,520.20					
屋内運動場	平屋建	874.00	874.00					
屋外便所・倉庫	平屋建	75.00	75.00					
駐輪場	平屋建	19.55	19.55					
駐輪場	平屋建	19.55	19.55					
ごみ置き場	平屋建	10.00	10.00					
施設合計		-	10,278.76	358.00	182.00	105.00	299.00	131.00

敷地面積 17,718.61

② 利用の状況

利用者数は増加傾向にあったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、減少しています。

利用者数(人) : 各種講座などを含む年間利用者数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
子育て支援センター	8,803	9,474	3,787
中央子育て支援センター・ 美南子育て支援センター(※)	20,032	15,709	8,435

(※) 子育て支援拠点利用者数

(4) 児童館

吉川市児童館条例により、児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにするため、児童福祉法第 35 条第 3 項の規定に基づき、吉川市児童館が設置されています。

名称は、吉川市児童館ワンダーランドであり、次に掲げる業務を行います。

- ① 児童に対する集団的及び個別的な遊びの指導に関すること。
- ② 児童に対する体力増進の指導に関すること。
- ③ 児童に対する情操の養成に関すること。
- ④ 児童の健全育成を目的とする団体の育成に関すること。
- ⑤ 前各号に掲げるもののほか、児童の健全育成に必要な事業に関すること。

① 施設の状況

独立した児童館が、1 施設 1 棟あります。

施設の状況

施設名	建物数(棟)	延床面積(m ²)	敷地面積(m ²)	所在地
児童館ワンダーランド	1	1,591.16	3,132.39	美南五丁目

② 建物の状況

独立した建物で、鉄筋コンクリート造 3 階建の建物があります。

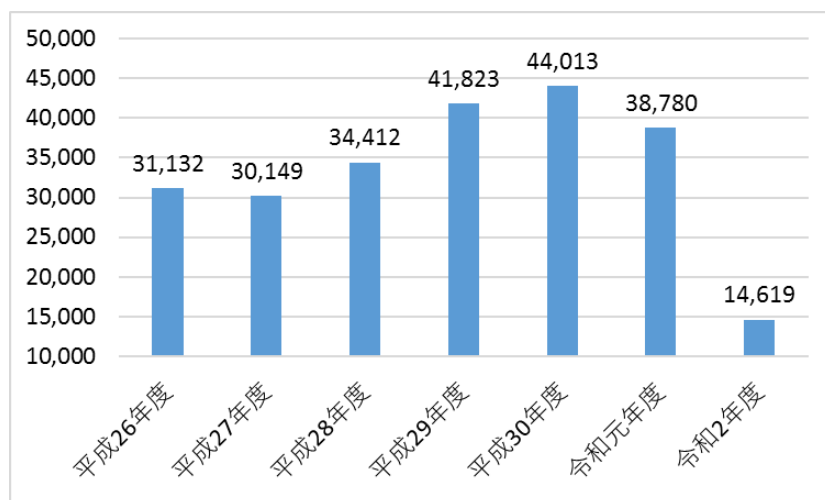
建物の状況

建物名	建物名	延床面積(m ²)	建築年度	経年	階	構造	耐震診断	耐震改修
児童館ワンダーランド	児童館	1,591.16	昭和 63 (1988) 年	33	3	鉄筋コンクリート造	不要	不要

③ 利用の状況

児童館ワンダーランドの利用者数は、平成 26 年度以降増加に転じ、平成 29 年度には 4 万人を超え、平成 30 年度は 44,013 人となりました。

児童館ワンダーランド利用者数(人)



④ コストの状況

総コストで約54百万円を要しており、利用者1名あたりの総コストは1,234円です。使用料収入はわずかです。

コスト一覧(平成30年度)

	施設名	児童館ワンダーランド
維持管理コスト	正職員数	4人
	会計年度 任用時職員数	0人
	会計年度 任用職員人件費	0千円
	修繕費	803千円
	光熱水費	1,248千円
	その他直接事業費	10,363千円
	正職員人件費	3,339千円
	(直接投入人員)	0.32人
	(間接投入人員)	0.11人
	計	15,753千円
事業運営コスト	会計年度 任用職員人件費	3,343千円
	その他直接事業費	4,435千円
	正職員人件費	30,909千円
	(直接投入人員)	1.99人
	(間接投入人員)	1.99人
計	38,687千円	
	歳出合計	54,440千円
歳入	使用料等	104千円
	補助金等	0千円
	その他収入	0千円
	歳入合計	104千円
	総コスト	54,336千円
	収支比率	0.19%

利用者1名あたり総コスト(円)

施設名	児童館ワンダーランド
利用者1名あたり(円)	1,234
平成30年度利用人数(人)	44,013

(5)こども発達センター

発育や発達に障がいまたは配慮が必要だと思われる児童に対し、基本的な生活習慣を身につけることや、社会生活に適応する力を高めていくために必要な機能訓練や療育指導を行ない、児童の発育・発達を促すとともに、保護者に対する相談・援助を行っています。こども発達センターは吉川市こども発達センター条例により設置され、令和元年度から児童福祉法に基づく児童発達支援事業へ移行し、令和4年度からは、福祉型児童発達支援センターとして機能を拡充します。

① 施設の状況

こども発達センターは、保健センター内に設置されています。

(平成31年4月に第二保育所から保健センター2階に移転しました)

施設の状況

施設名	建物数(棟)	延床面積(m ²)	敷地面積(m ²)	所在地
こども発達センター	-	194.36	保健センターと複合	吉川二丁目

複合化の状況

保健センター、こども発達センター

(m²)

建物		建物延床面積合計	施設	
			保健センター	こども発達センター
保健センター	2階建	1279.45	1085.09	194.36

敷地面積

1,814.79

② 利用の状況

利用の状況は、以下の通りです。

利用の一覧

	通所クラス・放課後クラスの 利用人数	集団指導及び個別指導の 実施回数
令和元年度	34	450
令和2年度	39	519

③ コストの状況

維持管理コストは、保健センターに含まれます。事業運営コストは、令和元年度から児童福祉法に基づく児童発達支援事業に移行したことから、歳入として障がい児通所支援事業給付費が見込まれるようになっていきます。

コスト一覧(令和2年度)

	施設名	こども発達センター
維持管理コスト	正職員数	
	会計年度任用職員数	
	会計年度任用職員人件費	
	修繕費	
	光熱水費	
	その他直接事業費	
	正職員人件費	
	(直接投入人員)	
	(間接投入人員)	
	計	
事業運営コスト	会計年度任用職員人件費	13,086 千円
	その他直接事業費	3,128 千円
	正職員人件費	18,409 千円
	(直接投入人員)	2.18 人
	(間接投入人員)	0.2 人
	計	34,624 千円
	歳出合計	34,624 千円
歳入	使用料等	1,479 千円
	補助金等	0 千円
	その他収入	14,173 千円
	歳入合計	15,652 千円
	総コスト	18,972 千円
	収支比率	45.2%

3 保健衛生施設

(1)施設の状況

吉川市保健センター条例により、市民の健康保持及び増進を図るため、吉川市保健センターが設置されています。センターは、次に掲げる業務を行います。

- ① 健康相談及び健康教育に関すること。
- ② 栄養指導及び保健指導に関すること。
- ③ 各種予防に関すること。
- ④ その他市長が必要と認めたこと。

平成30年11月から子育て世代包括支援センター事業が開始され、母子健康手帳の発行等に使用する受付窓口が整備されました。また、令和元年度から保健センター2階の一部を改修し、「こども発達センター」が併設されました。

施設の状況

施設名	建物数(棟)	延床面積(m ²)	敷地面積(m ²)	所在地
保健センター	1	1,279.45	1,814.79	吉川二丁目

複合化の状況

保健センター、こども発達センター (m²)

建物	建物延床面積合計	施設	
		保健センター	こども発達センター
保健センター 2階建	1,279.45	1,085.09	194.36

敷地面積 1,814.79

(2)建物の状況

建物の状況

建物名	延床面積(m ²)	建築年度	経年	階	構造	耐震診断	耐震改修
保健センター	1,279.45	昭和 62(1987)年	34	2	鉄筋コンクリート造	不要	不要

(3)コストの状況

令和2年度は新型コロナワクチン接種事業の修繕等の事業費が含まれるため、令和元年度のコストとしています。

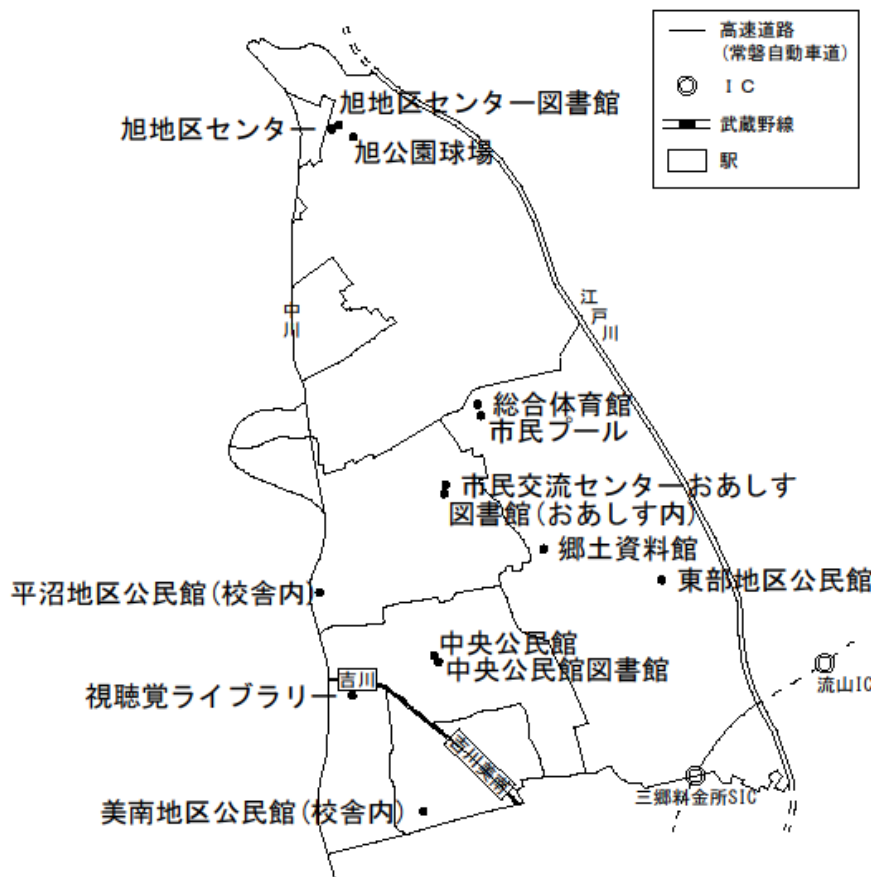
コスト一覧(令和元年度)

	施設名	保健センター
維持管理コスト	正職員数	3人
	会計年度任用職員数	0人
	会計年度任用職員人件費	0千円
	修繕費	2,707千円
	光熱水費	2,263千円
	その他直接事業費	6,390千円
	正職員人件費	2,321千円
	(直接投入人員)	0.28人
	(間接投入人員)	0.02人
	計	13,681千円

事業 運営 コスト	会計年度任用職員人件費	23,499 千円
	その他直接事業費	400,576 千円
	正職員人件費	88,565 千円
	(直接投入人員)	10.64 千円
	(間接投入人員)	0.81 千円
	計	512,640 千円
	歳出合計	526,321 千円
歳入	使用料等	5,285 千円
	補助金等	21,566 千円
	その他収入	8,605 千円
	歳入合計	35,456 千円
	総コスト	490,865 千円

3 生涯学習・スポーツ施設

生涯学習・スポーツ施設の位置



1 公民館

(1) 施設の状況

公民館は、中央公民館、東部地区公民館、平沼地区公民館、美南地区公民館の4つです。

吉川市公民館条例により、社会教育法(昭和24年法律第207号)第20条の目的を達成するため、法第21条第1項の規定に基づき、公民館が設置されています。

吉川市地区センター条例により、市民の生活文化の振興及び社会福祉の増進に寄与するため、旭地区センターが設置されています。

施設一覧

施設名	建物数(棟)	延床面積(m ²)	敷地面積(m ²)	状況	所在地
中央公民館	1	3,602.00	4,620.00		保
東部地区公民館	2	353.57	1,110.86		加藤
平沼地区公民館	-	328.94	-	吉川小学校と複合	平沼
美南地区公民館	-	299.00	-	美南小学校と複合	美南四丁目
旭地区センター	1	2,905.64	6,540.32		旭

複合化の状況

中央公民館、東部地区公民館、旭地区センターは以下のように複合化されています。

中央公民館、中央公民館図書室
(㎡)

建物		建物延床面積合計	施設	
			中央公民館	中央公民館図書室
事務所	3階建	3,602.00	3,415.00	187.00
敷地面積		4,620.00		

東部地区公民館、東部市民サービスセンター (㎡)

建物		建物延床面積合計	施設	
			東部地区公民館	東部市民サービスセンター
事務所	2階建	318.57	301.47	17.10
調理室	平屋建	35.00	35.00	
施設合計		-	336.47	17.10
敷地面積		1,110.86		

旭地区センター、旭地区センター図書室、北部市民サービスセンター (㎡)

建物		建物延床面積合計	施設		
			旭地区センター	旭地区センター図書室	北部市民サービスセンター
地区センター	2階建	2,905.64	2,773.64	100.00	32.00
敷地面積		6,540.32			

(2) 建物の状況

東部地区公民館の2棟が築43年、中央公民館が築35年を経過しています。

建物一覧

施設名	建物名	延床面積(㎡)	建築年度	経年	階	構造	耐震診断	耐震改修
中央公民館	公民館	3,415.00	昭和61(1986)年	35	3	鉄筋コンクリート造	不要	不要
東部地区公民館	公民館	318.57	昭和53(1978)年	43	2	鉄骨造	未実施	未実施
	食堂・調理室	35.00	昭和53(1978)年	43	1	鉄骨造	未実施	未実施
旭地区センター	事務所	2,773.64	平成8(1996)年	25	2	鉄筋コンクリート造	不要	不要

(3) 利用の状況

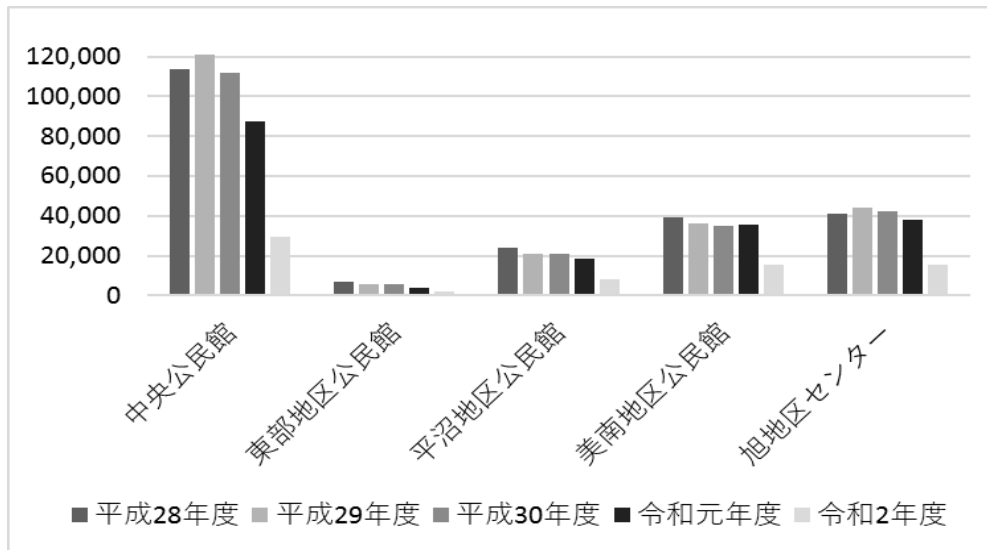
平成29年度から公民館の利用は減少傾向ですが、令和元年度、令和2年度については、新型コロナウイルスの影響で特に減少しています

公民館利用者数(人)

	中央公民館	東部地区公民館	平沼地区公民館	美南地区公民館	旭地区センター
平成 28 年度	113,672	6,843	23,918	39,205	41,112
平成 29 年度	120,863	5,970	21,092	36,216	44,160
平成 30 年度	111,787	5,604	20,885	35,051	42,242
令和元年度	87,482	4,005	18,579	35,459	38,282
令和 2 年度	29,716	2,141	7,911	15,611	15,611

旭地区センターは体育室・会議室・トレーニング室・図書室の年間利用者数

公民館利用者数(人)



(4)コストの状況

それぞれの施設の総コストは、2百万円から85百万円と差があります。使用料収入等により、歳出を最大で10%程度カバーしています。

コスト一覧(令和元年度)

	施設名	中央公民館	東部地区公民館	平沼地区公民館	美南地区公民館	旭地区センター
維持管理コスト	正職員数	6人	2人	0人	0人	3人
	会計年度 任用職員数	0人	0人	0人	0人	0人
	会計年度 任用職員人件費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	修繕費	24,064千円	0千円	0千円	52千円	3,860千円
	光熱水費	8,019千円	0千円	0千円	0千円	3,633千円
	その他直接事業費	20,975千円	2,491千円	3,937千円	3,898千円	11,952千円
	正職員人件費	17,945千円	232千円	541千円	541千円	9,591千円
	(直接投入人員)	1.86人	0.02人	0.06人	0.06人	1.24人
	(間接投入人員)	0.46人	0.01人	0.01人	0.01人	0.00人
	計	71,003千円	2,723千円	4,478千円	4,491千円	29,036千円
運営コスト	会計年度 任用職員人件費	1,732千円	0千円	2,842千円	2,872千円	0千円
	その他直接事業費	289千円	0千円	0千円	0千円	768千円
	正職員人件費	14,310千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	(直接投入人員)	1.48人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
	(間接投入人員)	0.37人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	16,331千円	0千円	2,842千円	2,872千円	768千円	
	歳出合計	87,334千円	2,723千円	7,320千円	7,363千円	29,804千円
歳入	使用料等	1,910千円	55千円	270千円	729千円	2,744千円
	補助金等	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	その他収入	35千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	歳入合計	1,945千円	55千円	270千円	729千円	2,744千円
	総コスト	85,389千円	2,668千円	7,050千円	6,634千円	27,060千円
	収支比率	2.2%	2.0%	3.6%	9.9%	9.2%

利用者1人あたり総コストは、200円弱から1,000円弱までばらつきがあります。

利用者1名あたり総コスト(円)

施設名	中央公民館	東部地区 公民館	平沼地区 公民館	美南地区 公民館	旭地区センター
利用者1名あたり(円)	976	666	379	187	707
令和元年度利用人数(人)	87,482	4,005	18,579	35,459	38,282

2 市民交流施設、図書館・図書室

(1) 施設の状況

吉川市民交流センターおあしす条例により、市民交流を推進し、個性豊かな市民文化の創造、男女共同参画社会の実現及び社会福祉の増進に寄与するため、吉川市民交流センターおあしすが設置されています。おあしすには、図書館、メディアプラザ(多目的ホール、リハーサル室及び楽屋)、共生プラザ(生活工房、フィットネスルーム、セミナールーム、印刷室、子ども室、交流サロン及びミーティングルーム)、屋上庭園及びイベント広場があります。

視聴覚ライブラリーは、吉川市視聴覚ライブラリー条例により、市民の生活文化及び知識教養の向上並びに社会教育の振興を図るため設置されています。

ライブラリーは、次に掲げる事業を行うものとされています。

- ① 図書、記録その他の情報収集及び提供に関すること。
- ② 視聴覚教育の奨励に関すること。
- ③ 視聴覚教具及び教材を収集管理し、その利用に関すること。
- ④ 多目的室及び視聴覚設備等の貸出しに関すること。
- ⑤ 前各号に掲げるもののほか、目的達成に必要な事業に関すること。

図書館は、吉川市図書館条例により、市民の教育と文化の発展に寄与するため、図書館法(昭和25年法律第118号)の規定に基づき、設置されています。図書館に分室が置かれ、視聴覚ライブラリー図書室、中央公民館図書室、旭地区センター図書室の3つがあります。

施設の状況

施設名	建物数 (棟)	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	状況	所在地
市民交流センターおあしす	2	6,075.04 (※)	33,204.00	図書館、子育て支援センターと複合	きよみ野一丁目
視聴覚ライブラリー、 視聴覚ライブラリー図書室	1	681.90	-	吉川情報サービスセンター内に設置	木売一丁目
図書館	-	2,271.00	-	おあしすと複合	きよみ野一丁目
中央公民館図書室	-	187.00	-	中央公民館と複合	保
旭地区センター図書室	-	100.00	-	旭地区センターと複合	旭

※ 市民交流センターおあしす(子育て支援センター含む) 3,804.04 ㎡+図書館 2,271.00 ㎡

複合化の状況

複合化の状況は以下のようになっています。

市民交流センターおあしす、子育て支援センター、図書館		(㎡)			
建物		建物延床 面積合計	施設		
			市民交流センター おあしす	子育て支援 センター	図書館
市民交流センター	2階建	6,075.04	3,788.50	15.54	2,271.00
トイレ	平屋建	57.00	57.00		
施設合計		-	3,845.50	15.54	2,271.00

敷地面積 33,204.00

吉川情報サービスセンター(地上7階地下1階のビルを区分所有)

建物		施設
4階	多目的室	視聴覚ライブラリー (延床面積 681.90 m ²)
3階	図書室	
2階	視聴覚ライブラリー、図書室	
1階	駅前サービスセンター(延床面積 137.75 m ²)	

土地区分所有 250.34 m² 区分割合 560,832,000/2,595,596,000

中央公民館、中央公民館図書室
(m²)

建物		建物延床面積合計	施設	
			中央公民館	中央公民館図書室
事務所	3階建	3,602.00	3,415.00	187.00

敷地面積 4,620.00

旭地区センター、旭地区センター図書室、北部市民サービスセンター (m²)

建物		建物延床面積合計	施設		
			旭地区センター	旭地区センター図書室	北部市民サービスセンター
地区センター	2階建	2,905.64	2,773.64	100.00	32.00

敷地面積 6,540.32

(2) 建物の状況

独立した建物をもつのは、市民交流センターおあしすのみです。視聴覚ライブラリーは市が区分所有している建物に設置されています。

建物の状況

施設名	建物名	延床面積(m ²)	建築年度	経年	階	構造	耐震診断	耐震改修
市民交流センターおあしす、図書館	市民交流センター	6,059.50 (※)	平成10年	23	2	鉄骨鉄筋コンクリート造	不要	不要
	屋外トイレ	57.00	平成10年	23	1	鉄筋コンクリート造	不要	不要
視聴覚ライブラリー	視聴覚ライブラリー	681.90	平成3年	30	地下1階付7階建のうち2~4階	鉄骨鉄筋コンクリート造	不要	不要

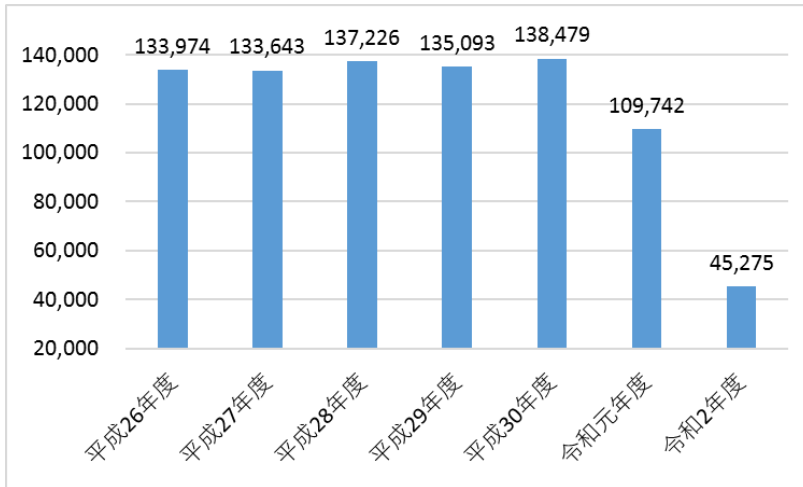
※ 市民交流センターおあしす 3,788.50 m² + 図書館 2,271.00 m²

(3) 利用の状況

① 市民交流センターおあしす

市民交流センターおあしすの利用者総数は、増加傾向でしたが、平成31年度(令和元年度)以降、新型コロナウイルス感染症に伴う利用制限等により、利用者総数は減少しています。

市民交流センターおあしす利用状況(利用者総数)



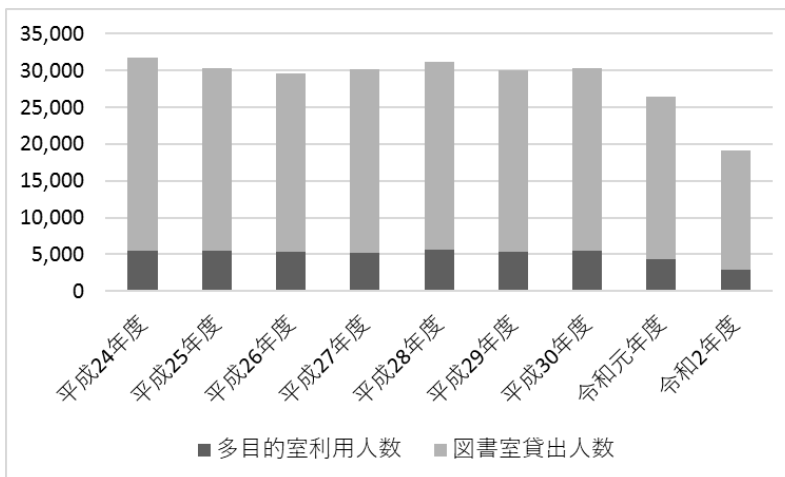
② 視聴覚ライブラリー

視聴覚ライブラリーの利用者総数が減少していますが、視聴覚利用人数の減少によるものです。

視聴覚ライブラリー利用状況(人)

	利用者総数	内訳	
		多目的室利用人数	図書室貸出人数
平成 24 年度	31,715	5,550	26,165
平成 25 年度	30,372	5,471	24,901
平成 26 年度	29,566	5,319	24,247
平成 27 年度	30,196	5,230	24,966
平成 28 年度	31,189	5,602	25,587
平成 29 年度	30,033	5,361	24,672
平成 30 年度	30,265	5,468	24,797
令和元年度	26,467	4,302	22,165
令和 2 年度	19,162	2,902	16,260

視聴覚ライブラリー利用状況(人)



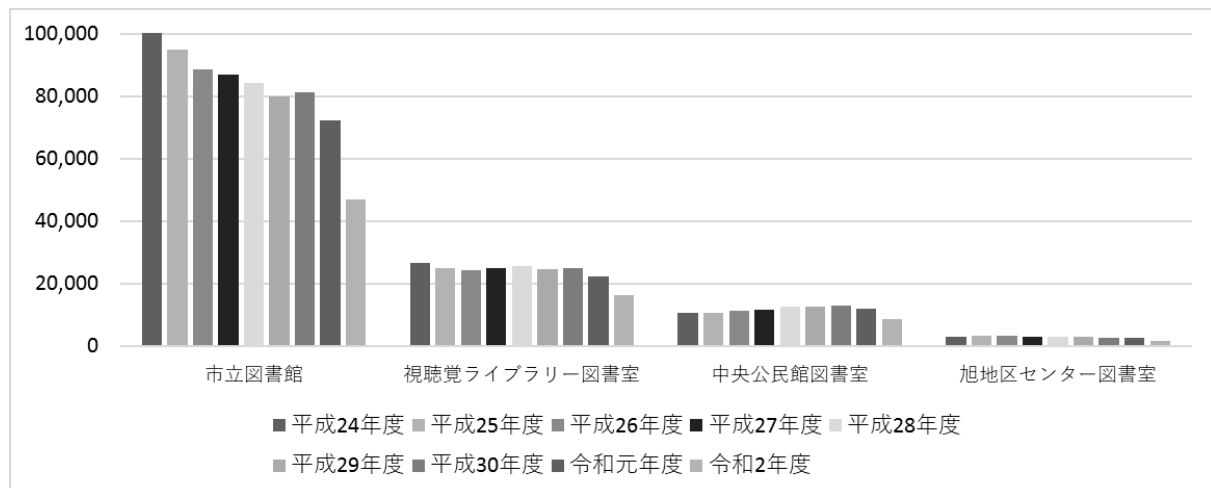
③ 図書館・図書室

令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止の為、約4ヶ月間、臨時休館の措置が取られ、貸出人数は前年比67.3%と大きく減少しています。

図書貸出人数(人)

	市立図書館	視聴覚ライブラリー 図書室	中央公民館 図書室	旭地区センター 図書室
平成24年度	100,526	26,615	10,514	2,907
平成25年度	94,798	24,901	10,498	3,203
平成26年度	88,581	24,247	11,336	3,161
平成27年度	86,779	24,966	11,479	2,821
平成28年度	84,046	25,587	12,487	3,048
平成29年度	79,810	24,672	12,541	3,004
平成30年度	81,111	24,797	12,931	2,683
令和元年度	72,110	22,165	11,916	2,442
令和2年度	46,729	16,260	8,427	1,710

図書貸出人数(人)



(4)コストの状況

総コストは、225 百万円です。利用者 1 人あたりの総コストは、市民交流センターおあしす・視聴覚ライブラリー・図書館・図書室で 1,031 円です。

コスト一覧(令和元年度)

	施設名	市民交流センターおあしす・ 視聴覚ライブラリー・図書館・図書室
維持管理コスト	正職員数	0 人
	会計年度任用職員数	0 人
	会計年度任用職員人件費	0 千円
	修繕費	3,424 千円
	光熱水費	0 千円
	その他直接事業費	0 千円
	正職員人件費	0 千円
	(直接投入人員)	
	(間接投入人員)	
	計	3,424 千円
事業運営コスト	会計年度任用職員人件費	0 千円
	その他直接事業費	364 千円
	正職員人件費	1,238 千円
	(直接投入人員)	0.16 人
	(間接投入人員)	0 人
	計	1,602 千円
	指定管理料	220,061 千円
	歳出合計	225,087 千円
歳入	使用料等	0 千円
	補助金等	千円
	その他収入	0 千円
	歳入合計	千円
	総コスト	225,087 千円

利用者 1 人あたりの総コスト

施設名	市民交流センターおあしす・ 視聴覚ライブラリー・図書館・図書室
利用者 1 名あたり(円)	1,031
令和元年度年度利用人数(人)	218,375(※)

市民交流センターおあしす(109,742 人)と市立図書館及び市内図書室(108,633 人)の利用者数の合計

3 郷土資料館

(1) 施設の状況

吉川市郷土資料館条例により、本市の歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管し、及び展示をして、教育的配慮のもとに住民の文化的向上に資することを目的とし、郷土資料館が設置されています。

施設の状況

施設名	建物数(棟)	延床面積(m ²)	敷地面積(m ²)	所在地
郷土資料館	2	157.40	462.00	中井二丁目

(2) 建物の状況

2棟の建物があります。展示室は築30年を超えています。

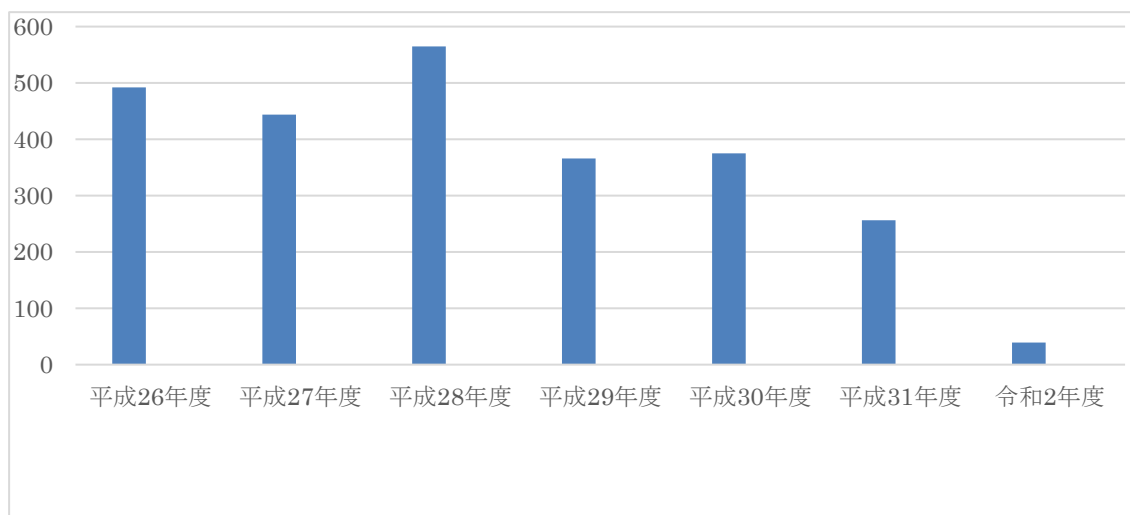
建物一覧

建物名	延床面積(m ²)	建築年度	経年	階	構造	耐震診断	耐震改修
展示室	86.12	昭和58 (1983)年	38	1	木造	不要	不要
倉庫	71.28	昭和61 (1986)年	35	1	鉄骨造	不要	不要

(3) 利用の状況

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部休館とし、また小学校3年生の社会科見学2校の団体見学の受入ができなかったため、来館者数は減少しています。

来館者数(人)



(4)コストの状況

総コストで2,016千円かかっており、利用者1人あたりでは7,875円です。

コスト一覧(令和元年度)

	施設名	郷土資料館
維持管理コスト	正職員数	0人
	会計年度任用職員数	0人
	会計年度任用職員人件費	0千円
	修繕費	8千円
	光熱水費	23千円
	その他直接事業費	187千円
	正職員人件費	0千円
	(直接投入人員)	0.00人
	(間接投入人員)	0.00人
	計	218千円
事業運営コスト	会計年度任用職員人件費	0千円
	その他直接事業費	174千円
	正職員人件費	1,624千円
	(直接投入人員)	0.18人
	(間接投入人員)	0.03人
	計	1,798千円
	指定管理料	0千円
	歳出合計	2,016千円
歳入	使用料等	0千円
	補助金等	0千円
	その他収入	0千円
	歳入合計	0千円
	総コスト	2,016千円

利用者1人あたりの総コスト

施設名	郷土資料館
利用者1名あたり(円)	7,875
令和元年度利用人数(人)	256

4 スポーツ施設

(1) 施設の状況

総合体育館、市民プール、旭公園球場は、吉川市総合体育館条例、吉川市市民プール条例、吉川市旭公園球場条例により、市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって市民の心身の健全な発達に寄与することを目的として、設置されています。

施設一覧

施設名	建物数(棟)	延床面積(m ²)	敷地面積(m ²)	所在地
総合体育館	1	4,395.00	7,380.41	上笹塚
市民プール	3	2,453.00	13,185.00	上笹塚
旭公園球場	1	1,359.00	13,900.00	旭

市民プールには、屋外プールと屋内温水プールがあります。屋外プールについては令和2年度に今後のあり方について検討した結果、廃止となりました。

(2) 建物の状況

総合体育館、市民プール、旭公園球場で5棟の建物があります。

建物一覧

施設名	建物名	延床面積(m ²)	建築年度	経年	階	構造	耐震診断	耐震改修	大規模改修
総合体育館	体育館	4,395.00	昭和57(1982)年	32	2	鉄筋コンクリート造	不要	不要	平成15年
	プール棟	1,728.00	平成6年	20	2 地下1階	鉄筋コンクリート造	不要	不要	
市民プール	事務所	615.00	昭和56(1981)年	33	2	鉄筋コンクリート造	未実施	未実施	平成21年
	技術室・機械室	110.00	昭和56(1981)年	33	1	鉄筋コンクリート造	未実施	未実施	平成21年
旭公園球場	内野スタンド	1,359.00	平成8年	18	2	鉄筋コンクリート造	不要	不要	

総合体育館の設備
大体育室:ハンドボールコート(全面)、バスケットボールコート(2面)、バレーボールコート(3面)、バドミントンコート(10面)可能
小体育室
第1武道場(柔道場)、第2武道場(剣道場)
トレーニング室
小会議室
観覧席(420席)
幼児室
市民プール(屋外プール)の設備
流水プール:1周 192m、水深1.1m、幅6m
幼児プール:399.5 m ² 、水深0.5m
市民プール(屋内温水プール)の設備
25mプール: 25m×17m 8コース
ジャグジープール
観覧席

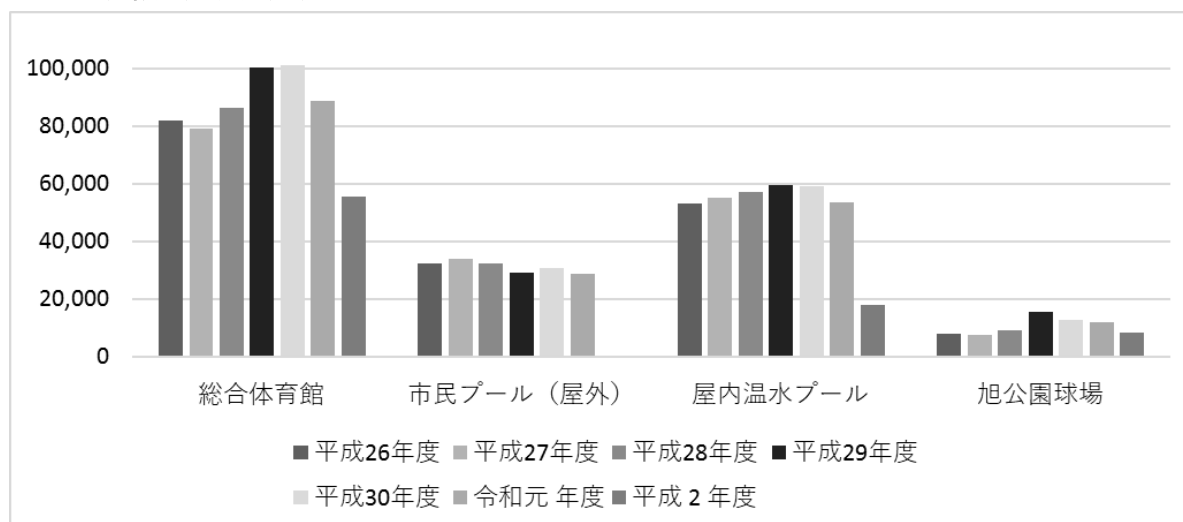
(3) 利用の状況

総合体育館、屋内温水プールの利用は増加傾向ですが、市民プール（屋外）、旭公園球場の利用は横ばい、またはやや減少傾向です。また、令和元年度、2年度は新型コロナウイルスの影響により減少傾向です。

スポーツ施設利用状況(人)

	総合体育館	市民プール(屋外)	屋内温水プール	旭公園球場
平成 26 年度	82,075	32,375	53,125	7,818
平成 27 年度	79,041	33,751	55,025	7,292
平成 28 年度	86,321	32,239	57,281	9,231
平成 29 年度	100,102	29,135	59,526	15,368
平成 30 年度	101,221	30,729	59,066	12,545
令和元 年度	88,538	28,552	53,503	11,947
平成 2 年度	55,307	-	18,039	8,190

スポーツ施設利用状況(人)



(4)コストの状況

総合体育館で 41 百万円、屋内温水プールで 70 百万円の総コストとなっています。

コスト一覧(平成 30 年度) ※令和元年度、令和 2 年度はコロナ対策により参照可能な数値がないため。

	施設名	総合体育館	屋内温水プール	旭公園球場
維持管理コスト	正職員数	8 人	8 人	8 人
	会計年度任用職員数	0 人	0 人	0 人
	会計年度任用職員人件費	0 千円	0 千円	0 千円
	修繕費	9,814 千円	11,151 千円	1,536 千円
	光熱水費	11,110 千円	23,351 千円	2,007 千円
	その他直接事業費	13,659 千円	44,177 千円	10,397 千円
	正職員人件費	11,416 千円	1,547 千円	854 千円
	(直接投入人員)	1.30 人	0.18 人	0.10 人
	(間接投入人員)	0.17 人	0.02 人	0.01 人
	計	45,999 千円	80,226 千円	14,794 千円
事業運営コスト	会計年度任用職員人件費	0 千円	0 千円	0 千円
	その他直接事業費	0 千円	0 千円	0 千円
	正職員人件費	0 千円	0 千円	0 千円
	(直接投入人員)	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	(間接投入人員)	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	計	0 千円	0 千円	0 千円
	指定管理料	0 千円	0 千円	0 千円
	歳出合計	45,999 千円	80,226 千円	14,794 千円
歳入	使用料等	4,713 千円	10,438 千円	1,153 千円
	補助金等	0 千円	0 千円	0 千円
	その他収入	62 千円	0 千円	0 千円
	歳入合計	4,775 千円	10,438 千円	1,153 千円
	総コスト	41,224 千円	69,788 千円	13,641 千円

※屋外プールは、令和 3 年度に廃止が決定したため、コストの状況には含めていません。

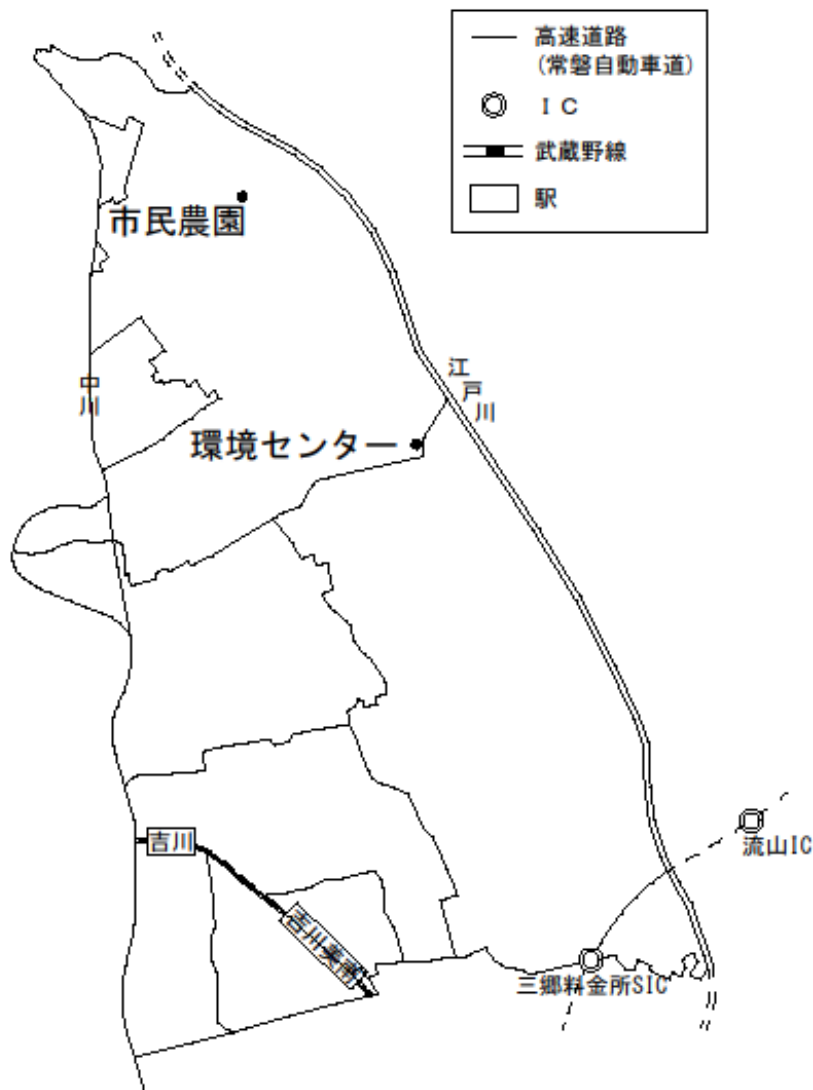
利用者 1 人あたりの総コストは、総合体育館 407 円、屋内温水プール 1,182 円、旭公園球場 1,087 円です。

利用者1人あたりの総コスト

施設名	総合体育館	屋内温水プール	旭公園球場
利用者1名あたり(円)	407	1,182	1,087
平成 30 年度利用人数(人)	101,221	59,066	12,545

4 環境・農業施設

環境・農業施設の位置



1 環境施設

(1) 施設の状況

吉川市環境センター条例により、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第1条に定める目的を達成するため、環境センターが設置されています。

環境センターの業務は以下の通りです。

- ・ 粗大ごみ処理施設および最終処分場の維持管理に関すること
- ・ 粗大ごみ・不燃ごみの処理及び処分に関すること
- ・ 再資源化できる廃棄物の再生利用に関すること

施設の状況

施設名	建物数(棟)	延床面積(m ²)	敷地面積(m ²)	所在地
環境センター	5	2,534.00	40,377.29	鍋小路

(2)建物の状況

環境センターには5つの建物があり、すべて築27年です。

建物一覧

建物名	延床面積(m ²)	建築年度	経年	階	構造	耐震診断	耐震改修
粗大ごみ処理棟	2,139.00	平成5年	28	2	鉄骨鉄筋コンクリート造	不要	不要
車庫	189.00	平成5年	28	1	鉄骨造	不要	不要
浸出水処理施設棟	100.00	平成5年	28	1	鉄筋コンクリート造	不要	不要
ストックヤード棟	96.00	平成5年	28	1	鉄骨造	不要	不要
自転車置場	10.00	平成5年	28	1	鉄骨造	不要	不要

(3)コストの状況

約35百万円の維持管理コストがかかっています。事業運営コストを含めると203百万円かかり、市の負担は約161百万円となっています。

コスト一覧(令和2年度)

	施設名	環境センター
維持管理コスト	正職員数	6人
	会計年度任用職員数	0人
	会計年度任用職員人件費	0千円
	修繕費	20,910千円
	光熱水費	2,690千円
	その他直接事業費	10,766千円
	正職員人件費	530千円
	(直接投入人員)	0.07人
	(間接投入人員)	0.00人
計	34,896千円	
事業運営コスト	会計年度任用職員人件費	0千円
	その他直接事業費	125,147千円
	正職員人件費	42,868千円
	(直接投入人員)	5.66人
	(間接投入人員)	0.00人
計	168,015千円	
	歳出合計	202,911千円
歳入	使用料等	15,246千円
	補助金等	22千円
	その他収入	25,651千円
	歳入合計	40,919千円
	総コスト	161,992千円
	収支比率	20.2%

2 農業施設

(1) 施設の状況

吉川市市民農園条例により、快適で利便性の高い市民農園を提供し、農業理解への促進、相互交流による地域農業の活性化及び良好な都市環境の形成に資することを目的として設置された市民農園のための施設です。

施設の状況

施設名	建物数(棟)	延床面積(㎡)	敷地面積(㎡)	所在地
市民農園	2	248.58	469.00	上内川

(2) 建物の状況

2つの木造建物があり築25年です。

建物一覧

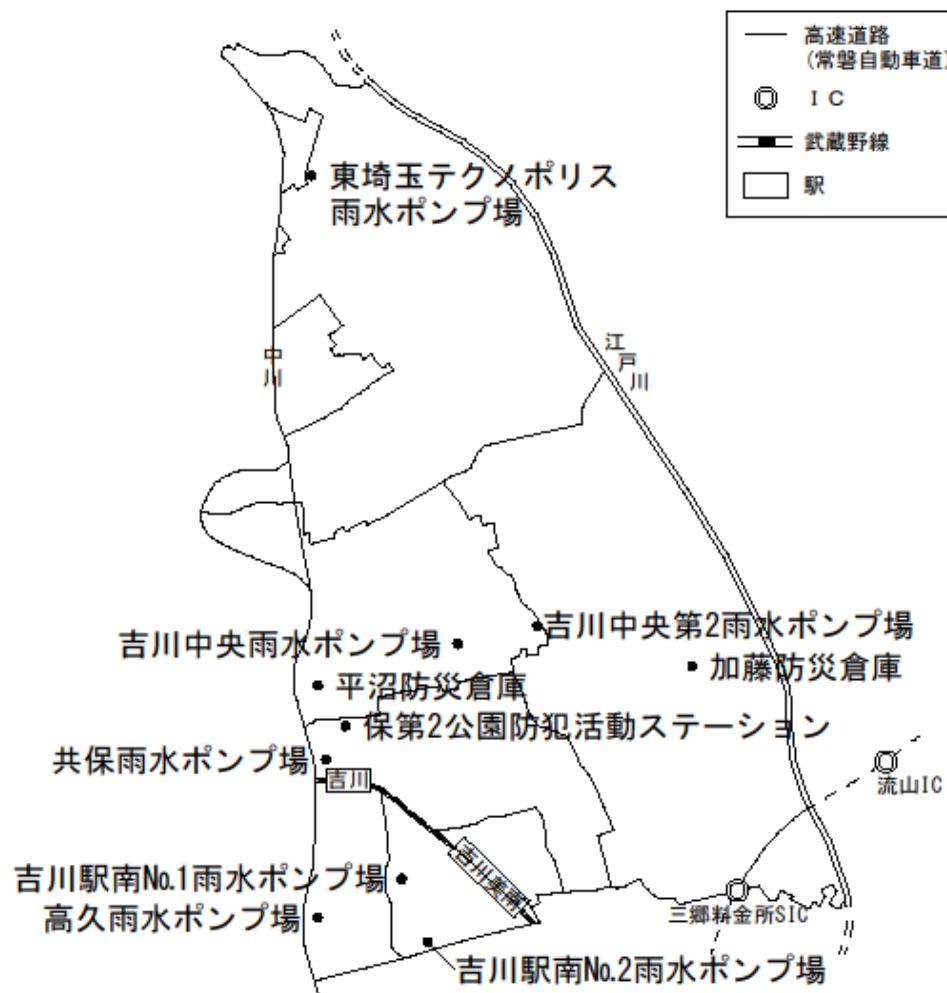
建物名	延床面積(㎡)	建築年度	経年	階	構造	耐震診断	耐震改修
管理研修棟	170.58	平成7年	26	1	木造	不要	不要
農機具庫	78.00	平成7年	26	1	木造	不要	不要

コスト一覧(令和2年度)

	施設名	市民農園
維持管理コスト	正職員数	0人
	会計年度任用職員数	0人
	会計年度任用職員人件費	0千円
	修繕費	99千円
	光熱水費	507千円
	その他直接事業費	634千円
	正職員人件費	7,271千円
	(直接投入人員)	0.96人
	(間接投入人員)	0人
	計	8,511千円
事業運営コスト	会計年度任用職員人件費	3,761千円
	その他直接事業費	301千円
	正職員人件費	0千円
	(直接投入人員)	0人
	(間接投入人員)	0人
	計	4,062千円
	歳出合計	12,573千円
歳入	使用料等	3,495千円
	補助金等	0千円
	その他収入	0千円
	歳入合計	3,495千円
	総コスト	9,078千円
	収支比率	27.8%

5 防災・防犯施設

防災・防犯施設の位置



1 防災施設

(1) 施設の状況

災害時に必要な資機材・備蓄物資などを保管するための施設です。

施設一覧

施設名	建物数(棟)	延床面積(㎡)	敷地面積(㎡)	所在地
加藤防災倉庫	1	263.00	518.47	加藤
平沼防災倉庫	1	180.00	353.82	平沼

(2) 建物の状況

2棟の建物があります。平沼防災倉庫は平成26年3月に新築しました。

建物一覧

施設名	建物名	延床面積(m ²)	建築年度	経年	階	構造	耐震診断	耐震改修
加藤防災倉庫	倉庫・物置	263.00	昭和 52 年	44	1	鉄骨造	未実施	未実施
平沼防災倉庫	倉庫・物置	180.00	平成 25 年	8	1	鉄骨造	不要	不要

2 排水機場・ポンプ場

(1)施設の状況

排水機場は台風などの大雨のとき、中小河川の洪水をポンプにより大河川へ強制的に排水する目的を持っています。ポンプ場は、同じく、豪雨時の浸水軽減を目的としたポンプを設置している施設です。

施設一覧

施設名	建物数(棟)	延床面積(m ²)	敷地面積(m ²)	所在地
東埼玉テクノポリス雨水ポンプ場	1	53.00	24,506.31	旭
高久雨水ポンプ場	2	795.58	1,478.28	高久一丁目
共保雨水ポンプ場	1	626.38	1,395.38	木売一丁目
吉川中央雨水ポンプ場	1	410.15	31,601.69	平沼
吉川中央第 2 雨水ポンプ場	1	32.43	3,903.04	中井
吉川駅南 No.1 雨水ポンプ場	1	210.84	2,617.40	美南五丁目
吉川駅南 No.2 雨水ポンプ場	1	148.67	1,225.13	美南四丁目

(2)建物の状況

東埼玉テクノポリス雨水ポンプ場、高久雨水ポンプ場、共保雨水ポンプ場の建物が築 25 年以上となっています。

建物一覧

施設名	建物名	延床面積(m ²)	建築年度	経年	階	構造	耐震診断	耐震改修
東埼玉テクノポリス雨水ポンプ場	排水機場	53.00	平成 6 年	27	1	鉄筋コンクリート造	未実施	未実施
高久雨水ポンプ場	電気棟	420.19	昭和 63 (1988) 年	33	2	鉄筋コンクリート造	未実施	未実施
	ポンプ棟	375.39	昭和 63 (1988) 年	33	1	鉄筋コンクリート造	未実施	未実施
共保雨水ポンプ場	排水機場	626.38	昭和 60 (1985) 年	36	2	鉄筋コンクリート造	未実施	未実施
吉川中央雨水ポンプ場	排水機場	410.15	平成 18 年	15	2	鉄筋コンクリート造	不要	不要
吉川中央第 2 雨水ポンプ場	排水機場	32.43	平成 14 年	19	1	鉄筋コンクリート造	未実施	未実施
吉川駅南 No.1 雨水ポンプ場	排水機場	210.84	平成 21 年	12	1	鉄筋コンクリート造	不要	不要
吉川駅南 No.2 雨水ポンプ場	排水機場	148.67	平成 21 年	12	1	鉄筋コンクリート造	不要	不要

※東埼玉テクノポリス雨水ポンプ場、高久雨水ポンプ場、共保雨水ポンプ場及び吉川中央第 2 雨水ポンプ場の耐震診断及び耐震改修につきましては、「下水道施設の耐震対策指針」に基づき「未実施」としております。

(3)コストの状況

各ポンプ場において、1～18百万円程度の総コストがかかっています。一部使用料やその他収入で、負担が軽減されています。

コスト一覧(令和2年度)

		東埼玉 テクノポリ ス雨水ポン プ場	高久雨水ポン プ場	共保雨水ポン プ場	吉川中央 雨水 ポンプ場	吉川中央 第2雨水 ポンプ場	吉川駅南 No.1 雨水 ポンプ場	吉川駅南 No.2 雨水 ポンプ場
維持管理コスト	正職員数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	会計年度 任用職員数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	会計年度 任用職員人件費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	修繕費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	光熱水費	374千円	4,051千円	3,514千円	2,368千円	414千円	688千円	469千円
	その他直接事業費	935千円	11,023千円	7,574千円	9,844千円	831千円	2,773千円	1,980千円
	正職員人件費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	(直接投入人員)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
	(間接投入人員)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1,309千円	15,074千円	11,088千円	12,212千円	1,245千円	3,461千円	2,449千円	
事業運営コスト	会計年度 任用職員人件費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	その他直接事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	正職員人件費	151千円	2,575千円	1,969千円	1,363千円	75千円	682千円	530千円
	(直接投入人員)	0.02人	0.31人	0.24人	0.16人	0.01人	0.08人	0.06人
	(間接投入人員)	0.00人	0.03人	0.02人	0.02人	0.00人	0.01人	0.01人
	計	151千円	2,575千円	1,969千円	1,363千円	75千円	682千円	530千円
	歳出合計	1,460千円	17,649千円	13,057千円	13,575千円	1,320千円	4,143千円	2,979千円
歳入	使用料等	0千円	12千円	3千円	0千円	0千円	6千円	0千円
	補助金等	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	その他収入	286千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	歳入合計	286千円	12千円	3千円	0千円	0千円	6千円	0千円
	総コスト	1,174千円	17,637千円	13,054千円	13,575千円	1,320千円	4,137千円	2,979千円
	収支比率	19.6%	0.07%	0.02%	-	-	0.1%	-

3 防犯施設

(1) 施設の状況

防犯活動ステーションは、自主防犯活動団体の活動拠点として、また、吉川駅北口周辺の犯罪を抑止することを目的として設置されたものです。主な活動として、吉川駅北口周辺の監視、子どもの見守り、犯罪情報等の提供、犯罪者、不審者等の警察への通報などを行います。

施設の状況

施設名	建物数(棟)	延床面積(m ²)	敷地面積(m ²)	所在地
保第2公園防犯活動ステーション	1	34.78	203.94	保一丁目

(2) 建物の状況

1棟の建物があり、築13年の木造です。

建物の状況

建物名	延床面積(m ²)	建築年度	経年	階	構造	耐震診断	耐震改修
事務所	34.78	平成20年	13	1	木造	不要	不要

(3) コストの状況

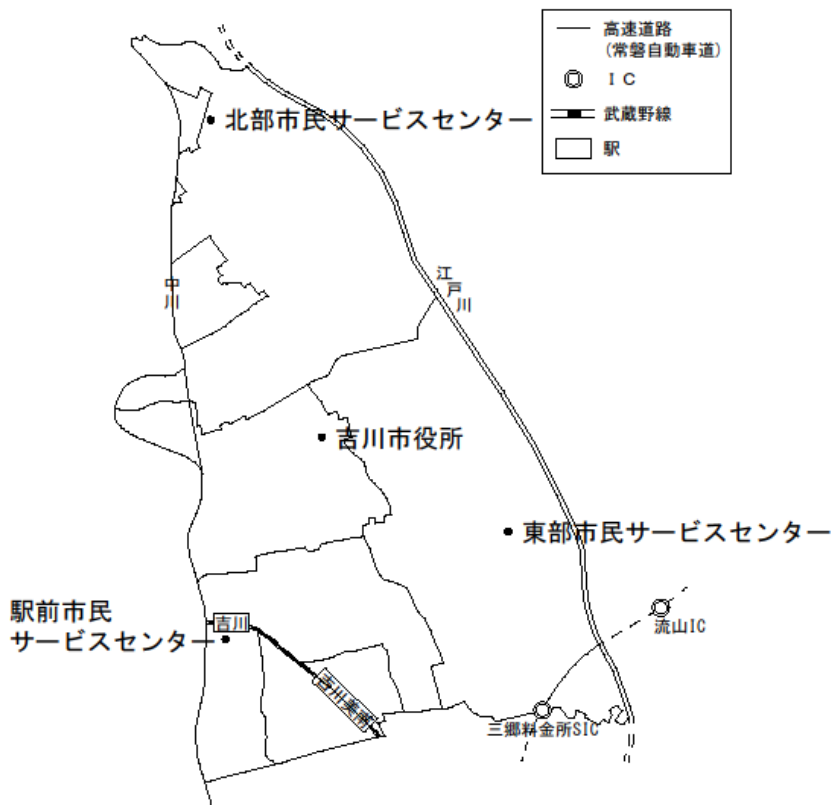
保第2公園防犯活動ステーションの維持管理コストは約2百万円弱程度で、事業運営コストを含めて6百万円弱です。

コスト一覧(令和元年度)

	施設名	保第2公園防犯活動ステーション
維持管理コスト	正職員数	0人
	会計年度任用職員数	0人
	会計年度任用職員人件費	0千円
	修繕費	11千円
	光熱水費	73千円
	その他直接事業費	81千円
	正職員人件費	1,736千円
	(直接投入人員)	0.18人
	(間接投入人員)	0.05人
	計	1,901千円
事業運営コスト	会計年度任用職員人件費	0千円
	その他直接事業費	2,325千円
	正職員人件費	1,667千円
	(直接投入人員)	0.17人
	(間接投入人員)	0.04人
	計	3,992千円
歳入	歳出合計	5,893千円
	使用料等	0千円
	補助金等	0千円
	その他収入	0千円
	歳入合計	0千円
	総コスト	5,893千円

6 行政施設

行政施設の位置



1 庁舎

(1) 施設の状況

市役所庁舎は、平成 28、29 年度年に建替え工事を行い、平成 30 年 5 月に新庁舎へ移転しました。建替えに際し、庁舎別館に分散していた教育委員会を併設したことで市民の利便性が上がりました。

施設一覧

施設名	建物数(棟)	延床面積(m ²)	敷地面積(m ²)	所在地
吉川市役所	5	8,282.46	15,191.07	きよみ野

(2) 建物の状況

市役所は 4 棟の建物があります。

建物一覧

施設名	建物名	延床面積(m ²)	建築年度	経年	階	構造	耐震診断	耐震改修
吉川市役所	庁舎	7,505.81	2017 年	4	3	鉄骨造	不要	不要
	キャンピー	206.73	2017 年	4	1	鉄骨造	不要	不要
	付属棟	481.99	2017 年	4	1	鉄骨造	不要	不要
	職員駐輪場	81.19	2017 年	4	1	鉄骨造	不要	不要
	危険物保管庫	6.74	2021 年	0	1	鉄骨造	不要	不要

(3)コストの状況

市役所建物の維持管理に約 86 百万円かかっています。

コスト一覧(令和 2 年度)

	施設名	吉川市役所
維持管理コスト	正職員数	4 人
	会計年度任用職員数	0 人
	会計年度任用職員人件費	0 千円
	修繕費	572 千円
	光熱水費	15,543 千円
	その他直接事業費	55,098 千円
	正職員人件費	15,602 千円
	(直接投入人員)	1.89 人
	(間接投入人員)	0.17 人
	計	86,815 千円
事業運営コスト	会計年度任用職員人件費	0 千円
	その他直接事業費	0 千円
	正職員人件費	0 千円
	(直接投入人員)	0.00 人
	(間接投入人員)	0.00 人
	計	0 千円
	歳出合計	86,815 千円
歳入	使用料等	1,383 千円
	補助金等	0 千円
	その他収入	0 千円
	歳入合計	1,383 千円
	総コスト	85,432 千円

2 市民サービスセンター

(1) 施設の状況

吉川市役所出張所設置条例により、地方自治法(昭和22年法律第67号)第155条第1項の規定に基づき、市長の権限に属する事務の一部を分掌させるため、出張所として、駅前市民サービスセンター、東部市民サービスセンター、北部市民サービスセンターが設置されています。

市内3か所の市民サービスセンターで土日及び祝日も開館しており各種申請届出・公金の納付、各種証明書等の交付を受けることができます。

施設一覧

施設名	建物数 (棟)	延床面積 (㎡)	敷地面積(㎡)	所在地
駅前市民サービスセンター	1	156.00	吉川情報サービスセンター内に設置	木売一丁目
東部市民サービスセンター	-	17.10	東部地区公民館と複合	加藤
北部市民サービスセンター	-	32.00	旭地区センターと複合	旭

複合化の状況

複合化の状況は以下の通りです。

吉川情報サービスセンター(地上7階地下1階のビルを区分所有)

建物		施設
4階	多目的室	視聴覚ライブラリー (延床面積 681.60 ㎡)
3階	図書室	
2階	視聴覚ライブラリー、図書室	
1階	駅前市民サービスセンター(延床面積 156.00 ㎡)	

土地所有面積 250.34 ㎡

東部地区公民館、東部市民サービスセンター (㎡)

建物		建物延床 面積合計	施設	
			東部地区 公民館	東部市民 サービスセンター
事務所	2階建	318.57	301.47	17.10
調理室	平屋建	35.00	35.00	
施設合計		-	336.47	17.10

敷地面積 1,110.86

旭地区センター、旭地区センター図書室、北部市民サービスセンター (㎡)

建物		建物延床 面積合計	施設		
			旭地区センター	旭地区センター 図書室	北部市民 サービスセンター
地区センター	2階建	2,905.64	2,773.64	100.00	32.00

敷地面積 6,540.32

(2) 建物の状況

駅前市民サービスセンターは、区分所有により吉川情報サービスセンター内に設置されています。東部市民サービスセンターは、東部地区公民館と複合化、北部市民サービスセンターは、旭地区センターと複合化されています。

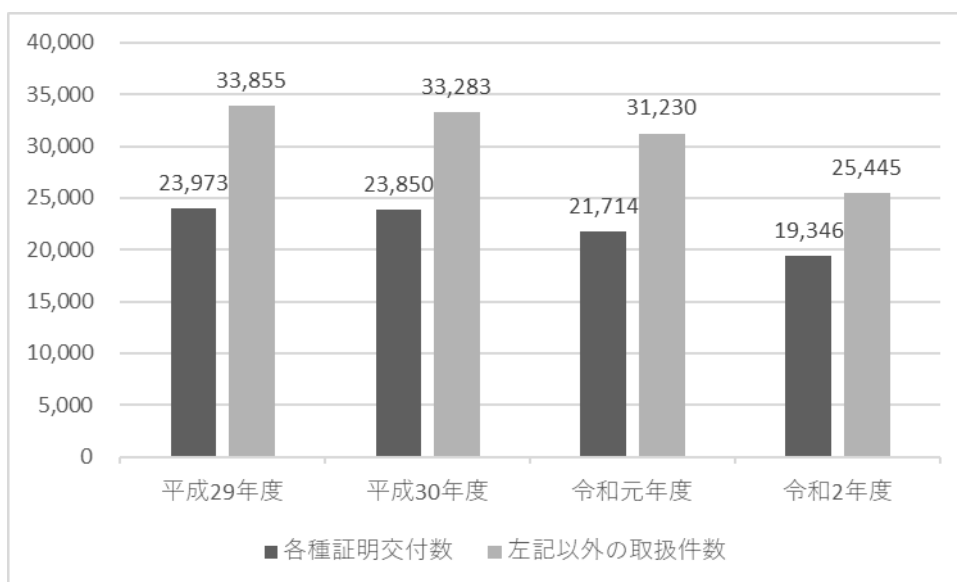
建物の状況

施設名	建物名	延床面積 (㎡)	建築年度	経年	階	構造	耐震 診断	耐震 改修
駅前市民サービスセンター	事務所	156.00	平成3年	30	地下1階付 7階建のうち1階	鉄骨鉄筋コン クリート造	不要	不要

(3) 利用の状況

各種証明交付数、各種証明以外の取扱件数とも減少傾向です。

市民サービスセンター取扱件数(件)



各種証明: 戸籍関係、住民票関係、印鑑証明、税証明他

(4)コストの状況

市民サービスセンターの維持・運営に駅前市民サービスセンターは50百万円、東部市民サービスセンターは17百万円、北部市民サービスセンターは約6百万円かかっています。

コスト一覧(令和2年度)

		駅前市民サービスセンター	東部市民サービスセンター	北部市民サービスセンター
維持管理コスト	正職員数	5人	2人	2人
	会計年度任用職員数	0人	0人	0人
	会計年度任用職員人件費	0千円	0千円	0千円
	修繕費	981千円	1,769千円	14千円
	光熱水費	2,797千円	631千円	0千円
	その他直接事業費	10,370千円	1,616千円	26千円
	正職員人件費	531千円	2,121千円	0千円
	(直接投入人員)	0.02人	0.28人	0.00人
	(間接投入人員)	0.05人	0.00人	0.00人
	計	14,679千円	6,137千円	40千円
事業運営コスト	会計年度任用職員人件費	2,750千円	0千円	2,742千円
	その他直接事業費	210千円	177千円	46千円
	正職員人件費	36,886千円	13,028千円	3,712千円
	(直接投入人員)	3.93人	1.72人	0.49人
	(間接投入人員)	0.94人	0.00人	0.00人
	計	39,846千円	13,205千円	6,500千円
	指定管理料	0千円	0千円	0千円
歳出合計	54,525千円	19,342千円	6,540千円	
歳入	使用料等	4,774千円	883千円	449千円
	補助金等	294千円	1,583千円	0千円
	その他収入	7千円	1千円	7千円
	歳入合計	5,075千円	2,467千円	456千円
総コスト	49,450千円	16,875千円	6,084千円	

7 インフラ施設

インフラ施設の位置



1 駐輪駐車場

(1) 施設の状況

サイクル&バスライド駐輪場は、公共施設駐輪場を活用したサイクルアンドバスライド施策実施要領に基づき設置されています。他の駐輪場は、吉川市自転車駐車場条例により、自転車等の利用者の利便を図るとともに、駅周辺の自転車の環境整備に資することを目的として設置されています。

施設一覧

施設名	建物数(棟)	延床面積(m ²)	敷地面積(m ²)	所在地
サイクル&バスライド駐輪場	2	16.49	52.00	中井三丁目
吉川駅北第1自転車駐車場	1	1,730.47	1,440.00	木売一丁目
吉川駅南自転車駐車場	1	357.78	155.00	木売一丁目
吉川駅北第2自転車駐車場	1	225.87	365.00	木売一丁目
吉川駅西自転車駐車場	1	114.13	435.77	木売一丁目
吉川美南駅西口自転車駐車場	4	513.42	1,264.17	美南二丁目

(2)建物の状況

最も古い建物でも、築28年です。

建物一覧

施設名	建物名	延床面積(m ²)	建築年度	経年	階	構造	耐震診断	耐震改修
サイクル&バスライド駐輪場	自転車置場・置場	11.91	平成6年	27	1	軽量鉄骨造	不要	不要
	自転車置場・置場	4.58	平成6年	27	1	軽量鉄骨造	不要	不要
吉川駅北第1自転車駐車場	自転車置場・置場	1,730.47	平成5年	28	3	鉄骨造	不要	不要
吉川駅南自転車駐車場	自転車置場・置場	357.78	平成5年	28	1	鉄骨造	不要	不要
川駅北第2自転車駐車場	自転車置場・置場	225.87	平成5年	28	1	鉄骨造	不要	不要
吉川駅西自転車駐車場	自転車置場・置場	114.13	平成5年	28	1	鉄骨造	不要	不要
吉川美南駅西口自転車駐車場	自転車置場・置場	344.12	平成24年	9	1	鉄骨造	不要	不要
	自転車置場・置場	79.98	平成24年	9	1	鉄骨造	不要	不要
	自転車置場・置場	81.80	平成24年	9	1	鉄骨造	不要	不要
	管理棟	7.52	平成24年	9	1	鉄骨造	不要	不要

(3)コストの状況

吉川駅北第2自転車駐車場と吉川美南駅西口自転車駐車場は、歳入が歳出を上回っています。他の自転車駐車場は5割以上支出を使用料等でまかなっていますが、約2~4百万円を市が負担しています。

コスト一覧(令和元年度)

	吉川駅北第1自転車駐車場	吉川駅南自転車駐車場	吉川駅北第2自転車駐車場	吉川駅西自転車駐車場	吉川美南駅西口自転車駐車場
維持管理コスト	正職員数	0人	0人	0人	0人
	会計年度任用職員数	0人	0人	0人	0人
	会計年度任用職員人件費	0千円	0千円	0千円	0千円
	修繕費	100千円	0千円	0千円	0千円
	光熱水費	913千円	185千円	87千円	252千円
	その他直接事業費	909千円	487千円	756千円	1,150千円
	正職員人件費	322千円	185千円	46千円	172千円
	(直接投入人員)	0.03人	0.02人	0.01人	0.01人
	(間接投入人員)	0.01人	0.00人	0.00人	0.00人
	計	2,244千円	857千円	889千円	1,574千円
事業運営コスト	会計年度任用職員人件費	0千円	0千円	0千円	0千円
	その他直接事業費	14,561千円	7,306千円	1,135千円	6,825千円
	正職員人件費	322千円	185千円	46千円	172千円
	(直接投入人員)	0.03人	0.02人	0.01人	0.02人
	(間接投入人員)	0.01人	0.01人	0.00人	0.00人
	計	14,833千円	7,491千円	1,181千円	6,997千円
	指定管理料	0千円	0千円	0千円	0千円
	歳出合計	17,127千円	8,348千円	2,070千円	8,571千円
歳入	使用料等	14,503千円	5,288千円	3,881千円	3,738千円
	補助金等	0千円	0千円	0千円	0千円
	その他収入	0千円	0千円	0千円	0千円
	歳入合計	14,503千円	5,288千円	3,881千円	3,738千円
	総コスト	2,624千円	3,060千円	▲1,811千円	4,833千円
	収支比率	84.7%	63.3%	187.4%	43.6%
					▲11,764千円
					235.1%

2 公園・トイレ

(1) 施設の状況

ほとんどが公園のトイレです。

施設一覧

施設名	建物数(棟)	延床面積(㎡)	敷地面積(㎡)	所在地
駅前トイレ	1	51.00	51.00	木売一丁目
沼辺公園	1	26.60	20,535.51	中央三丁目
関公園	3	31.45	13,482.32	吉川一丁目
中曽根公園	3	13.93	11,142.72	中曽根二丁目
永田公園	1	118.36	26,200.03	きよみ野四丁目
高久第2公園	1	5.29	2,482.40	高久一丁目
保第2公園	1	7.76	3,323.35	保一丁目
吉川児童公園	1	9.25	1,917.87	吉川一丁目
道庭公園	1	1.53	2,304.00	道庭一丁目
川富公園	1	1.46	1,408.80	吉川二丁目
川野公園	1	1.53	2,051.18	吉川二丁目
木売公園	1	6.06	8,848.55	木売三丁目
高富公園	1	5.00	2,004.06	高富一丁目
高久公園	1	1.53	1,669.45	高久一丁目
保公園	1	6.06	2,827.85	保一丁目
保第3公園	1	14.70	1,873.68	保一丁目
きよみ野第3公園	1	21.76	2,350.33	きよみ野二丁目
木売第2公園	1	4.90	1,894.64	木売二丁目
なまずの里公園	1	49.35	7,940.00	保
月の公園	1	6.48	1,004.15	保
きよみ野第4公園	1	3.68	2,493.83	きよみ野三丁目
ほのぼの公園	1	5.72	1,975.20	保
美南一丁目公園	1	5.72	1,994.14	美南一丁目
美南二丁目公園	1	14.10	3,557.24	美南二丁目
美南四丁目公園	1	5.35	2,643.87	美南四丁目
美南五丁目公園	1	6.01	2,015.11	美南五丁目
美南中央公園	1	19.57	17,485.00	美南二丁目
吉川美南駅前公園	1	14.10	5,191.56	美南三丁目
アクアパーク	1	20.52	3,333.00	中央三丁目
栄町にここ公園	1	13.36	2,322.29	中央二丁目
よこまちの杜	1	24.84	8,091.53	川藤
道庭緑地	1	3.12	11,615.79	道庭一丁目

(2) 建物の状況

最も古い建物で、築 32 年です。耐震診断、耐震改修はすべて不要です。

建物一覧

施設名	建物名	延床面積(m ²)	建築年度	経年	階	構造
駅前トイレ	トイレ	51.00	平成 4 年	29	1	鉄筋コンクリート造
沼辺公園	トイレ	26.6	平成 3 年	30	1	鉄筋コンクリート造
関公園	ログハウス	18.0	平成 5 年	28	1	木造
	トイレ	3.22	平成 2 年	31	1	木造
	身障者用トイレ	10.23	平成 8 年	25	1	鉄筋コンクリート造
中曽根公園	身障者用トイレ	6.13	平成 9 年	24	1	軽量鉄骨造
	トイレ	5.55	平成 4 年	29	1	鉄筋コンクリート造
	トイレ	2.25	平成 4 年	29	1	軽量鉄骨造
永田公園	管理棟	118.36	平成 7 年	26	1	鉄骨鉄筋コンクリート造
高久第 2 公園	トイレ	5.29	平成 7 年	26	1	鉄筋コンクリート造
保第 2 公園	トイレ	7.76	平成 5 年	28	1	鉄骨造
吉川児童公園	トイレ	9.25	平成 6 年	27	1	鉄筋コンクリート造
道庭公園	トイレ	1.53	平成 2 年	31	1	コンクリート製擬木
川富公園	トイレ	1.46	平成 3 年	30	1	コンクリート製擬木
川野公園	トイレ	1.53	平成 3 年	30	1	コンクリート製擬木
木売公園	トイレ	6.06	平成 3 年	30	1	鉄筋コンクリート造
高富公園	トイレ	5.00	平成 3 年	30	1	鉄筋コンクリート造
高久公園	トイレ	1.53	平成 3 年	30	1	コンクリート製擬木
保公園	トイレ	6.06	平成 3 年	30	1	鉄筋コンクリート造
保第 3 公園	トイレ	14.70	平成 3 年	29	1	鉄骨造
きよみ野第 3 公園	トイレ	21.76	平成 8 年	25	1	鉄筋コンクリート造
木売第 2 公園	トイレ	4.90	平成 8 年	25	1	鉄筋コンクリート造
なまずの里公園	備蓄倉庫兼トイレ	49.35	平成 14 年	19	1	アルミサンドウィッチパネル壁造
月の公園	トイレ	6.48	平成 15 年	18	1	軽量鉄骨造
きよみ野第 4 公園	トイレ	3.68	平成 13 年	20	1	鉄骨造
ほのぼの公園	トイレ	5.72	平成 17 年	16	1	軽量鉄骨造
美南一丁目公園	トイレ	5.72	平成 20 年	13	1	アルミサンドウィッチパネル壁造
美南二丁目公園	トイレ	14.10	平成 23 年	10	1	鉄筋コンクリート造
美南四丁目公園	トイレ	5.35	平成 23 年	10	1	軽量鉄骨造
美南五丁目公園	トイレ	6.01	平成 22 年	11	1	アルミサンドウィッチパネル壁造
美南中央公園	トイレ	19.57	平成 22 年	11	1	鉄筋コンクリート造
吉川美南駅前公園	トイレ	14.10	平成 23 年	10	1	鉄筋コンクリート造
アクアパーク	トイレ	20.52	平成 14 年	19	1	アルミサンドウィッチパネル壁造
栄町にこにこ公園	トイレ	13.36	平成 23 年	10	1	軽量鉄骨造
よこまちの杜	管理棟	24.84	平成 23 年	10	1	木造

(3)コストの状況

ほとんどが修繕費、光熱水費、その他直接事業費です。光熱水費は、なまずの里公園が50万円程度で最も高く、その他は10万円以下の施設もあるなど様々な費用のかかり方をしています。

コスト一覧(令和2年度)

	駅前トイレ	沼辺公園	関公園	中曽根公園	永田公園
修繕費	236千円	0千円	0千円	0千円	0千円
(洋式化)	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
光熱水費	404千円	405千円	381千円	402千円	379千円
その他直接事業費	2602千円	466千円	615千円	743千円	434千円
計	3242千円	871千円	996千円	1145千円	813千円

	高久第2公園	保第2公園	吉川児童公園	道庭公園	川富公園
修繕費	28千円	108千円	0千円	0円	10千円
(洋式化)	0千円	0千円	0千円	385千円	358千円
光熱水費	178千円	82千円	64千円	42千円	134千円
その他直接事業費	307千円	371千円	308千円	303千円	292千円
計	513千円	561千円	372千円	730千円	794千円

	川野公園	木売公園	高富公園	高久公園	保公園
修繕費	0千円	332千円	0千円	0円	56千円
(洋式化)	521千円	1039千円	893千円	394千円	1098千円
光熱水費	93千円	262千円	26千円	24千円	96千円
その他直接事業費	286千円	286千円	271千円	205千円	283千円
計	900千円	1919千円	1190千円	623千円	1533千円

	保第3公園	きよみ野第3公園	木売第2公園	なまずの里公園	月の公園
修繕費	100千円	10千円	0千円	48千円	99千円
(洋式化)	0千円	0千円	0千円	0千円	702千円
光熱水費	218千円	280千円	46千円	550千円	129千円
その他直接事業費	394千円	308千円	197千円	369千円	353千円
計	712千円	598千円	243千円	967千円	1283千円

	きよみ野第4公園	ほのぼの公園	美南一丁目公園	美南二丁目公園	美南四丁目公園
修繕費	30千円	0千円	0千円	0千円	0千円
(洋式化)	946千円	0千円	0千円	0千円	0千円
光熱水費	175千円	123千円	128千円	146千円	98千円
その他直接事業費	297千円	305千円	371千円	466千円	371千円
計	1448千円	428千円	499千円	612千円	469千円

	美南五丁目公園	美南中央公園	吉川美南駅前公園	アクアパーク	栄町にこにこ公園
修繕費	0千円	28千円	57千円	69千円	0千円
(洋式化)	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
光熱水費	84千円	182千円	227千円	260千円	85千円
その他直接事業費	355千円	464千円	609千円	371千円	434千円
計	439千円	674千円	893千円	700千円	519千円

	よこまちの杜	道庭緑地
修繕費	0 千円	0 千円
(洋式化)	0 千円	0 千円
光熱水費	65 千円	50 千円
その他直接事業費	0 千円	308 千円
計	65 千円	358 千円

3 自由通路

(1) 施設の状況

吉川美南駅自由通路の設置及び管理に関する条例により、歩行者の往来の利便を図るとともに、快適な都市環境の実現に資するため、吉川美南駅自由通路が設置されています。

施設の状況

施設名	建物数(棟)	延床面積(㎡)	敷地面積(㎡)	所在地
吉川美南駅自由通路	1	1,049.81	3,020.96	中曽根

(2) 建物の状況

吉川美南駅の東西をつなぐ建物です。

建物の状況

建物名	延床面積(㎡)	建築年度	経年	階	構造	耐震診断	耐震改修
自由通路	1,049.81	平成 23 年	9	2	鉄骨造	不要	不要

(3) コストの状況

光熱水費が 1.8 百万円、事業運営コストが 6.5 百万円かかっています。

コスト一覧(令和2年度)

	施設名	吉川美南駅自由通路
維持管理コスト	正職員数	0 人
	会計年度任用職員数	0 人
	会計年度任用職員人件費	0 千円
	修繕費	0 千円
	光熱水費	1,855 千円
	その他直接事業費	0 千円
	正職員人件費	76 千円
	(直接投入人員)	0.01 人
	(間接投入人員)	0.00 人
	計	1,931 千円
事業運営コスト	会計年度任用職員人件費	0 千円
	その他直接事業費	6,406 千円
	正職員人件費	76 千円
	(直接投入人員)	0.01 人
	(間接投入人員)	0.00 人
	計	6,482 千円
	指定管理料	0 千円
歳出合計	8,413 千円	
歳入	使用料等	500 千円
	補助金等	0 千円
	その他収入	2 千円
	歳入合計	502 千円
総コスト	7,911 千円	
収支比率	6.0%	

4 農業集落排水施設

(1) 施設の状況

地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条第1項の規定に基づき、農業集落の生産及び生活環境整備を推進するため、吉川市農業集落排水処理施設条例により、八子新田・鍋小路地区農業集落排水処理施設(通称:八鍋クリーンセンター)が設置されています。

施設の状況

施設名	建物数(棟)	延床面積(m ²)	敷地面積(m ²)	所在地
八鍋クリーンセンター	1	174.30	1,672.00	八子新田

(2) 建物の状況

1棟の建物があります。

建物の状況

延床面積(m ²)	建築年度	経年	階	構造	耐震診断	耐震改修
174.3	平成17年	16	1	鉄筋コンクリート造	不要	不要

(3) コストの状況

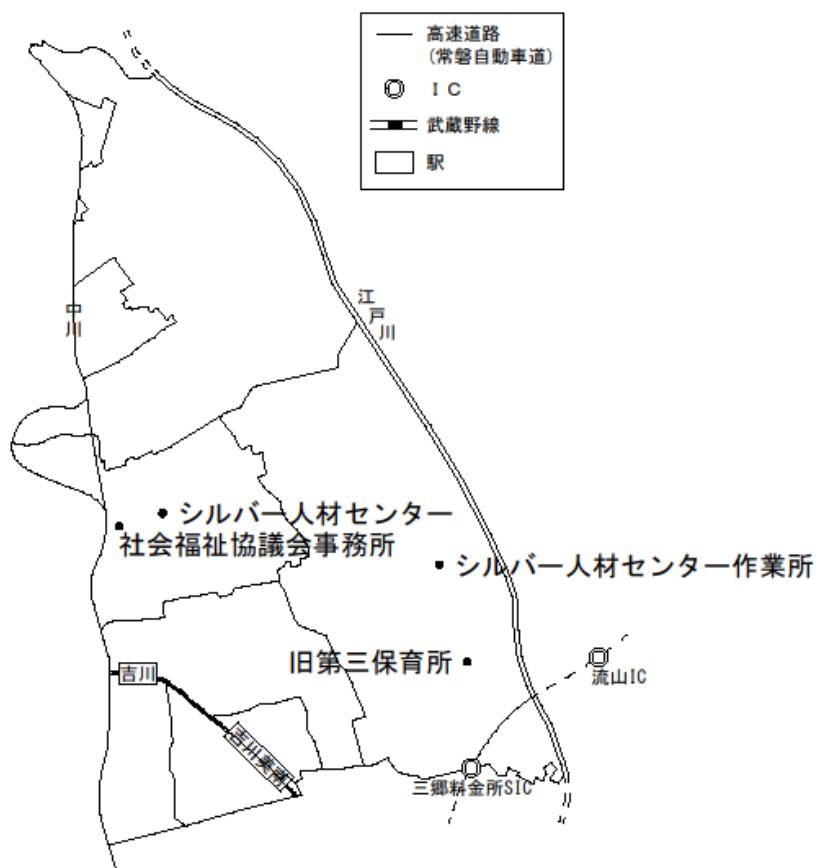
光熱水費で1.6百万円弱、直接事業費で7.4百万円かかっています。

コスト一覧(令和2年度)

		八鍋クリーンセンター
維持管理コスト	正職員数	1人
	会計年度任用職員数	0人
	会計年度任用職員人件費	0千円
	修繕費	0千円
	光熱水費	1,611千円
	その他直接事業費	7,376千円
	正職員人件費	151千円
	(直接投入人員)	0.02人
	(間接投入人員)	0人
	計	9,138千円
事業運営コスト	会計年度任用職員人件費	0千円
	その他直接事業費	244千円
	正職員人件費	2,727千円
	(直接投入人員)	0.36人
	(間接投入人員)	0人
	計	2,971千円
	歳出合計	12,109千円
歳入	使用料等	5,646千円
	補助金等	0千円
	その他収入	0千円
	歳入合計	5,646千円
	総コスト	6,463千円
	収支比率	46.6%

8 その他施設

その他施設の位置



(1) 施設の状況

市内の団体が利用している施設です。

施設一覧

施設名	建物数(棟)	延床面積(m ²)	敷地面積(m ²)	所在地
社会福祉協議会事務所 (旧市役所第二庁舎)	1	997.00	7,181.16	吉川二丁目
旧第三保育所	1	640.00	1,946.42	大字飯島
シルバー人材センター	1	206.33	499.50	きよみ野二丁目
シルバー人材センター作業所	1	47.00	46.34	加藤

(2) 建物の状況

200 m²以下もしくは、賃借をしている建物です。

建物一覧

施設名	建物名	延床面積(m ²)	建築年度	経年	階	構造	耐震診断	耐震改修
社会福祉協議会事務所	事務所	997.00	平成 3 (1991)年	30	2	鉄骨造	不要	不要
旧第三保育所	倉庫	640.00	昭和 53 (1978)年	43	1	鉄骨造	未実施	未実施
シルバー人材センター	事務所	206.33	平成 5 (1993)年	28	1	木造	不要	不要
シルバー人材センター 作業所	事務所	47.00	平成 5 (1993)年	28	1	木造	不要	不要